

# 燈 光



## 年頭あいさつ2022

燈光会会長 岩崎 貞二

新年おめでとうございます。

コロナが落ち着いて、皆さんにとつても、燈光会にとつてもいい年であるようにと祈念します。

2021年はほとんど何もできない1年でした。9月までは断続的に緊急事態宣言がでて、その度に参観中止に追い込まれ、職員は休業し、収入も上がらず、新しいことがほとんど何もできない1年でした。

10月からは参観を全国で再開しています。10月からは、地域によって差がありますが、犬吠埼や野島埼、観音埼などの灯台にはコロナ前を上回る人が来てくれて、少しはほっとしています。少しは安堵しています。2021年度の収支は赤字が確実です。いかにして赤字幅が少なくできるかです。

新しい年は、参観に来てくれる人を増やすためのチ

ヤレンジの1年にしたいと思います。灯台に来てもらう人を増やすのは、本当に難しいことです。宣伝経費もない、灯台だけを目的で来てくれる人も少ない…難しい条件ですが、できることを一生懸命やるのが、少しでも実を結ぶと信じてやっつていこうと思います。

難しいだけではなく、いいこともあります。関係の皆さんが努力していただいたおかげで、灯台が次々と重要文化財に指定されています。参観灯台だけでも、犬吠埼、角島及び御前埼灯台が指定されたことに続き、出雲日御碕灯台が指定されることになっています。歴史遺産として認められました。知名度が、よりあがり、来ていただける方が増えるといいなと期待しています。

海上保安庁で法律改正をされ、航路標識協力団体の制度も立ち上がりました。民間の団体が灯台に関わる

事業をするときに、協力団体として指定されると、いろいろと便宜を図ってくれる制度です。民間の活力を生かして、より灯台のことを知ってもらう、灯台を観光に活かす、灯台に賑わいを作るなどを目指した制度です。燈光会も参観事業をし、資料室などで歴史的資料を保存しているのです。協力団体の指定をもらうべく作業を進めています。参観灯台で燈光会以外の団体も指定されることが見

込まれています。参観灯台でその灯台の歴史を語ってくれるボランティアの団体、参観灯台でイベントなどをしてくれる地域の人たちの団体があります。こうした団体も航路標識協力団体に指定され、燈光会と連携が組めると一つの力になりそうです。

燈光会の参観灯台

#### 2020年12月重要文化財指定



犬吠埼灯台



角島灯台

以外でも、いくつかの灯台が地元の有志の人たちでこの協力団体制度を活用して年中ではありませんが休日などにのぼれる灯台として公開しようという動きもあるようです。これも灯台を身近に知ってもらいたい取り組みだと思っています。参観灯台の先輩として求められればお手伝いをしていきます。燈光会の参観灯台は16しかありません。しかも、地域的に偏在しています。日本のあちこちで新しい参観灯台が増えて、多くの皆さんが灯台に親しんでもらい、灯台を学んでもらうことにつながれば。

この2年間会員の人たちとの交流の機会が途絶えていました。春の燈光会の総会・懇親会、秋の灯台記念日の祝賀会は中止を続けていました。今年は何とか実現したいと思います。お元気な姿で参加してください。

#### 2021年8月重要文化財指定



御前埼灯台



## 年頭のご挨拶

海上保安庁長官 奥島高弘

新年明けましておめでとうございます。

令和4年の年頭にあたり、平素から海上保安業務に對するご支援・ご協力に對し、心よりお礼申し上げますとともに、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、(公社)燈光会の皆様方におかれましては、灯台參觀事業をはじめ、航路標識に関する周知啓発にご尽力いただくとともに、海上交通の安全意識の向上にも貢献いただいております。

海上保安庁を取り巻く環境は、尖閣諸島周辺海域における中国海警局に所屬する船舶による連日の活動、大和堆周辺海域における外国漁船による違法操業など、厳しさを増しております。これらの状況に適切に対応していくため、平成28年の関係閣僚会議で決定された「海上保安体制強化に関する方針」に基づき、海上保安庁一丸となって、巡視船・航空機の整備など、体制

強化を着実に進めているところです。

また、昨年開催された「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」においては、過去最大規模の体制で約2か月にわたる長期間の海上警備に臨み、東京湾の船舶交通や、海域を利用される多くの方々の生活、経済に及ぼす影響を最小限に留めるため、海域利用者のご理解とご協力を得ながら、東京港内の臨海部に設置された競技会場等の前面海域に航行自粛海域等を設定するなど、一つ一つ課題を克服し、無事、完遂することができました。

海上交通業務に目を向けますと、近年の台風等の自然災害の頻発化・激甚化に伴い、異常気象時における船舶交通の一層の安全確保を図ることが急務となっております。そのため、異常気象時における船舶の湾外避難等の勧告・命令制度や海上空港等の臨海部に立地する施設を認知させるために、船舶のレーダー画面

などにバーチャル航路標識を一時的に表示させる制度などを創設する法改正を昨年の通常国会において行い、船舶の走錨等に起因する重大事故の未然防止策を一層強化したところです。

また、航路標識を損傷した原因者に対し、復旧に必要な工事の施行又はその工事の費用の負担を求める制度や海上保安庁以外の者による管理航路標識における工事等に関する承認制度等を創設し、海上保安庁が管理する航路標識の管理体制の充実強化を図ったところです。

一方、国際業務に目を向けますと、昨年7月、我が国は国際航路標識機関条約を世界で3番目に締結しました。この条約は、灯台などの航路標識に関する国際的基準の策定等を行う非政府組織である国際航路標識協会（IALA）を国際機関とし、組織体制の強化等を図るものです。

海上保安庁は、昭和34年からIALAに加入し、昭和50年から現在まで11期連続で理事を務めるなど、航路標識分野における国際的なルール作り等において主導的な役割を担ってきております。IALAが国際機関へ移行することによって、この機関で作成された勸

告等は、加盟国政府が認めたものとなり、国際的な基準としてより一層実効性が高まることが期待されます。海上保安庁としては、加盟国と連携・協調のうえ、引き続き船舶交通の安全に積極的に貢献していきます。

結びに、我が国の航路標識事業の発展に貢献してこられた皆様のご努力に対して、心より敬意を表するとともに、今後の一層のご活躍を祈念いたしまして、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 新年を迎えて

海上保安庁交通部長 吉 永 隆 博

新年明けましておめでとうございます。

燈光会会員及び関係の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げますとともに、平素から海上保安業務、特に海上交通業務に深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りながら、交通部に関連した話題を紹介させていただきます。

まずは、法律改正の取り組みです。近年、大型の台風をはじめとした異常気象の頻発化・激甚化に伴い、平成30年9月の関西国際空港連絡橋へのタンカー衝突事故等の人流、物流に甚大な影響を及ぼす事故が相次いで発生しました。このような状況に適切に対応するため、交通政策審議会海事分科会船舶交通安全部会の

答申を踏まえ、昨年の通常国会において、海上交通安全法等の一部を改正しました。

この法律により、異常気象時に、海上保安庁長官が、船舶に対し湾外等の安全な海域に避難するよう勧告し、必要な場合には命令をかけるといった措置を講じることや、臨海部に立地する空港等の施設の管理者からの依頼に基づき海上保安庁がバーチャル航路標識を緊急的に表示することが可能となりました。

また、航路標識の管理体制の充実強化の観点から、海上保安庁長官が、民間団体等が灯台の簡易な補修工事等を実施することを承認する制度、船舶接触等により海上保安庁が管理する航路標識に損傷を与えた原因者に対して復旧工事の施行を命じ、又は、費用の負担を義務付ける制度、さらには、灯台に関する知識普及、啓発ができる団体を航路標識協力団体として指定する制度を創設しました。

これらの新たな制度を通じて、海上交通の安全の確保に一層努力してまいります。

続いて、灯台の重要文化財指定についてです。一昨年の指定（犬吠埼灯台、角島灯台、六連島灯台、部埼灯台）に引き続き、昨年5月と11月に、文部科学省において、4基の現役灯台（御前埼灯台、江埼灯台、美保関灯台、出雲日御碕灯台）を重要文化財に指定又は指定に係る答申が行われ、ニュースや新聞などでも大きく取り上げられました。我々の諸先輩方が長きにわたり適切に灯台を管理してきたその賜物が、重要文化財として認められたことは、大変喜ばしいことと思っております。この場を借りて感謝申し上げる次第です。

最後に、例年11月に開催されてきた灯台記念日祝賀会が新型コロナウイルス感染症の影響により、2年連続で中止となり、大変残念に思っております。

そのような中、（公社）燈光会が主催する「灯台絵画コンテスト」には、例年どおり多数の応募があり、国土交通大臣賞、海上保安庁長官賞、燈光会会長賞、各部門の金、銀、銅賞の全27作品の選考が予定どおり行われました。受賞者の学校等で表彰式が行われ、大

変喜んでいただいたとお聞きし、大変喜ばしく思っております。

当交通部は、本年も引き続き、安全かつ効率的な船舶の運航の実現に努める所存です。

今後とも、会員皆様からの変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、会員皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 令和3年交通部の主な出来事

## 海上保安庁交通部企画課

### 1 〈航路標識の管理体制の強化〉

第204回国会（常会）において、「海上交通安全法等の一部を改正する法律」が令和3年5月25日に成立しました。法改正による航路標識法に創設した制度のうち、航路標識協力団体制度、民間団体等による承認工事制度、航路標識の工事施行命令制度及び原因者負担金制度については、同年11月1日に施行しました。

#### 《航路標識協力団体制度、承認工事制度》

近年、灯台を地域のシンボルや観光資源として考え、灯台の草刈や清掃、灯台を活用したイベントの開催等様々な活動に取り組んで頂いている地方自治体や民間団体等（以下、単に団体という。）があります。

また、これら団体からは、地域の活性化の一環として、灯台の塗装や錆落とし等の軽微な行為であれば、自主的に実施しても構わないとの声が寄せられており

ました。

このため、法改正により、海上保安庁が管理する航路標識（以下、「管理航路標識」という。）において、

- ① 航路標識に関する工事又は航路標識の維持
- ② 航路標識の管理に関する情報又は資料の収集及び提供
- ③ 航路標識の管理に関する調査研究

- ④ 航路標識の管理に関する知識の普及及び啓発
- ⑤ ①から④の活動に附帯する活動

を適切に行うことが出来ると認められる団体を海上保安庁長官が指定する航路標識協力団体制度、また、団体が海上保安庁長官の承認を受け、管理航路標識の補修等の工事・維持が可能となる承認工事制度を創設しました。

#### 《航路標識の工事施行命令、原因者負担金制度》

灯浮標等の管理航路標識に船舶が接触し、損傷させる事案が過去5年（平成27年から令和元年）で262件発生しております。しかし、これらの損傷を受けた航路標識を復旧させるにあたり、原因者との交渉が難航し、復旧に長時間要するケースが見受けられました。このため、法改正により、航路標識を損傷させた事実



新制度周知用のパンフレット

を明らかにしたうえで、航路標識の復旧に必要な工事などを原因者に行わせる工事施行命令制度や、当該工事に要する費用を原因者に負担させる原因者負担金制度を創設しました。

今後、これらの制度により、航路標識の管理体制の一層の強化及び迅速な復旧に努めてまいります。

## 2 〱異常気象時における走錨等に起因する事故の防止

昨今、台風などの異常気象が頻発化・激甚化していることを受け、更なる走錨事故防止対策の強化のための船舶の湾外避難等の勧告・命令等の法制度創設について、交通政策審議会海事分科会船舶交通安全部会において審議いただき、令和3年1月に答申を得ました。この答申に基づき、第204回国会（常会）に海上交通安全法等の一部を改正する法律案を提出し、国会審議を経て同年5月25日に成立しました。

これにより、

- 一定の大型船を対象とする湾外避難、湾内の錨泊制限などの勧告・命令制度
- 海上空港などの臨海部に立地する施設の周辺海域における走錨事故など防止のための海上交通センターからの情報提供、危険回避措置の勧告制度
- 臨海部に立地する施設への船舶の衝突防止のためのバーチャルAIS航路標識の緊急表示として、施設管理者が自らバーチャルAIS航路標識を一時表示

する際の手續緩和及び海上保安庁が施設管理者から委託を受けてバーチャルAIS航路標識を表示する代行表示制度

・持続可能な航路標識の管理体制の充実強化のために創設された航路標識の復旧のための施行命令、原因

「海上交通安全法等の一部を改正する法律」について  
令和3年7月1日施行

東京・伊勢湾・瀬戸内海（大瀬田灯台）において台風等の異常な気象・海象が予想される場合、本編制に該当する船舶の航行に方針を修正する。  
湾外遊覧・湾内の臨泊制限等を勧告・命令する制度等が創設されます。



走継事故防止ポータルサイト  
海上交通安全法第102条第2項  
<https://www.jahco.mhlw.go.jp/missions/kajij/wordpress/soujitsy.html>  
※船舶に搭載されたGPSの位置情報を取得します。

- ・気象情報、海象情報、台風情報
- ・船舶の位置、航路情報、航行履歴、船舶識別（AIS番号）
- ・航行履歴、船舶の位置、航路情報、航行履歴
- ・船舶の位置、航路情報、航行履歴、船舶識別（AIS番号）
- ・気象情報、海象情報、台風情報

JCG 海上保安庁  
JAPAN COAST GUARD

新制度周知用のリーフレット①

バーチャルAIS航路標識の  
緊急表示制度

航路標識法が改正（令和3年7月施行）され、台風等の異常気象時における船舶の事故防止対策の一環として、バーチャルAIS航路標識※1を一時的に表示する制度が創設されました。

一時表示

AIS信号所※2（許可標識）の管理者がバーチャルAIS航路標識を一時的に表示



代行表示

海上保安庁が代行してバーチャルAIS航路標識を一時的に表示



※1 バーチャルAIS航路標識：航路標識が実在しない位置に、あたかも航路標識が存在するよう表示し、GPSマークを船舶の航路用データ一画面に表示させるもの  
※2 AIS信号所（船舶自動追跡装置により送受信される船舶の航行の安全に関する情報等を行う）の施設を行う場所

JCG 海上保安庁  
JAPAN COAST GUARD

※バーチャルAIS航路標識を一時的に表示するときは、船舶識別番号等の航空機上・陸上航空機等に適用はしない。

新制度周知用のリーフレット②

者負担制度

・承認工事制度及び航路標識協力団体制度が創設され、船舶交通の安全確保をより一層充実させることができるようになりました。

令和3年の台風シーズンでは、新たに設けられた制度も活用することにより、社会経済へ重大な影響を与えるような事故の発生を未然に防止することができましたが、引き続き、冬季の強い低気圧への対応、令和4年の台風シーズンに向け、万全を期してまいります。

### 3 〈現役の灯台が重要文化財に指定〉

重要文化財に指定されている現役の灯台は、新たに令和3年度に指定された4基（指定に係る答申がなされた3基を含む）を含め、合計で8基となりました。

これらは、いずれも明治時代に設置された灯台で歴史的价值が高く、150年近く当時のままの姿で航海の安全を守るべく光を放ち続け、今もなお海の道しるべとして航海の安全を守り続けています。

### ・御前埼灯台（令和3年8月2日…指定）

明治政府が主体的に計画した灯台建設の最も初期に

築かれた洋式灯台である。

昭和24年の戦災復旧工事、昭和58年の耐震補強工事を経てもなお、建設当時の姿を保持し、現在に至るまで我が国の主要航路標識として機能し続けている。  
(設計…R・H・ブルントン)

・江崎灯台(令和3年11月19日…答申)  
兵庫開港に備え慶応3年に瀬戸内海沿岸への設置が決められた五灯台の一つである。  
建設当初の姿を維持している洋式灯台としては、我が国で二番目に古い灯台であり、平



初点灯：明治4年4月27日



初点灯：明治7年5月1日

成7年の阪神・淡路大震災を経てもなお、現在に至るまで我が国の主要航路標識として機能し続けている。

(設計…R・H・ブルントン)

・美保関灯台(令和3年11月19日…答申)

美保関灯台は、日清戦争後に海運助成策が

強力に推進される機運にあつて建設された。

山陰地方で最も古い石造灯台であり、近代航路標識整備の展開を知るうえで価値が高いこと、また、灯台と共に整備され、現在は灯台ビュッフェとして活用されている旧吏員退息所、物置、囲障などと共に当初の構えを残す点も貴重である。

・出雲日御碕灯台(令和3年11月19日…答申)

10年以上にわたる地元の請願運動と、明治32年に浜田港及び境港が開港場に定められるなど日本海沿岸航



初点灯：明治31年11月20日

路の需要の高まりを受けて建設された。

組積造では最も高い灯台であり、明治初期に煉瓦造で実施された二重壁構造を石造と煉瓦造を組み合わせた構造に応用するなど、外国人技士によりもたらされた洋式灯台建設技術を、日本の諸条件に併せた技術的な工夫を進めた到達点と言える。



初点灯：明治36年4月1日

#### 4 〈国際航路標識協会（IALA）の国際機関化に向けた動き〉

2021年7月13日、パリにおいて、伊原純一駐フランス共和国特命全権大使が国際航路標識機関条約に署名するとともに、同条約の受諾書をフランス政府に寄託しました。

この条約は、フランス国内法に基づくNGOである

IALA（1957年設立）を国際機関化することにより、同組織の体制強化等を図ることを目的としており、2010年のフランス政府提案を契機に検討が始まりました。その後、2014年のIALA総会において国際機関へ移行することが決議され、一連の条約交渉を経て、2020年2月にマレーシアで開催された外交会合において条約（設立協定）として採択されたものです。

この条約の発効日は、「三十番目の批准書等の寄託の日の後九十日目の日」と規定されており、この発効日から六箇月以内に開催される第一回総会において、新たな組織としての議長国、副議長国等が選出されることになっていきます。

※2021年10月末現在、寄託済みの批准



2020年2月 マレーシアでの外交会合の様子

書等は3通。

現在IALAでは、IMOの諮問機関の一つとして、航路標識に関連する技術基準等の作成、デジタル技術を活用した新技術の導入など、航路標識の調和及び改善に取り組んでいます。

※会員数（2021年10月末現在）… 国家会員 89機関（82カ国）、準会員72団体、工業会員149団体

我が国は、1959年に海上保安庁が国家会員として加盟し、1975年以降は連続11期にわたって交通部長（灯台部長）が理事を務めているほか、2016年からは、海上保安庁職員がIALAの技術委員会であるENAV委員会の議長を務



2019年10月のIALA本部におけるe-Navigation委員会

めています。

また、現在は燈光会を含む3団体に準会員、8団体に工業会員として加盟して頂いており、海上保安庁はこれらの関係者との連携の中で、航路標識分野における国際的なルール作り等に参画しています。

このような中で、海上保安庁といたしましては、国際機関化後も引き続き国内関係者と連携しながら、この分野において主導的な役割を務めて参ります。

##### 5 〈灯台記念日における関係団体との連携〉

我が国初の洋式灯台である「観音埼灯台」（神奈川県）の起工日（1868年11月1日）に因んで11月1日を灯台記念日と定めて、令和3年で153周年目を迎えました。

海上保安庁では第153周年灯台記念日にあたり、航路標識業務への理解が広く国民に深まることに加え、灯台が地域の方々に親しまれるシンボルとなることを目的に、地方自治体等と連携した周知活動を展開するとともに、令和2年と同様に、日本財団と共催した「海と灯台ウィーク」（11月1日～8日）と題する事業を掲げ、メディアを利用した活動も展開しました。

また、Instagram等の各種SNSを活用したフォトコンテストの開催やYouTube配信による灯台の歴史や役割の講義等、時代の流行を取り入れ、若年層にも灯台の役割や魅力が届く活動にも広げました。各地方の観光施設等においては、国有文化財に登録された灯台パネルの展示や灯台に関するクイズ等、訪れる方々へ灯台の印象が深く残るような工夫も行いました。また、令和3年11月1日から、新たな制度である航路標識協力団体の指名の募集を開始したこともあり、



博物館明治村海上保安庁特別展（愛知県）



犬吠埼灯台（千葉県）

同制度の周知活動も併せて行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止で活動に制約を受けたものの、イベント会場では、例年以上に精力的な取り組みを展開し、令和3年の灯台記念日関連行事の結果として、全国の22団体と連携し、全国43箇所灯台等での来場、参加いただきました。

## 6 〈沿岸灯台等への高輝度LED導入〉

交通部では、航路標識の新たな光源として高輝度LEDを採用することとして令和元年度以降順次整備を進めています。

高輝度LEDはハロゲンランプ比で寿命約40倍、消費電力約10分の1、メタルハライドランプ比で寿命約4〜8倍、消費電力約5分の4となるため、省電力化



灯台企画展in赤レンガ博物館（京都府）

及びメンテナンス作業の効率化に寄与するものです。

令和2年度に引き続き、令和3年度中には、光源にメタルハライドランプを使用している瀧波岐崎犬磯（とうみきさきいぬいそ）照射灯（宮城）、岩井埼矢摺島（いわいさきやすりしま）照射灯（鳥羽）及び西埼北西方（いりさきほくせいほう）照射灯（石垣）の3箇所を高輝度LEDの灯器を整備予定です。

そして、本誌令和3年1月号で紹介した沿岸灯台のうち、光源に高輝度LEDを使用した新型の回転型灯器は、波勝岬（はがちさき）灯台（下田）【写真1】及び伊島（いしま）灯台（徳島）への整備を完了しました。回転型灯器は、

一定速度で回転する性質上、複雑な灯質（光り方）を作ることは難しいですが、毎5秒に1閃光といったシンプルな灯質に適しています。現在は、白色光のみですが、今後この回転型の灯器には、白色光と赤色光を放つこと

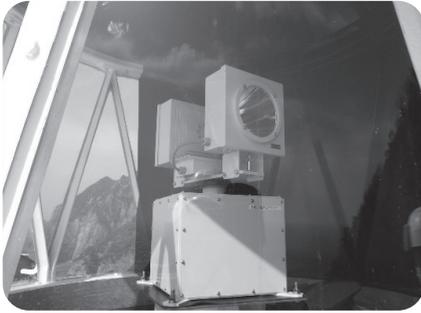


写真1 波勝岬灯台灯器

ができるものを導入する予定です。これにより赤白互光の灯質の灯台にも導入が可能となります。

更に、今後の取組みとして、赤・白・緑の配色が課題となっていたことから、ハロゲンランプを光源に使用する指向灯にも高輝度LEDを導入する予定です。指向灯の中には昼夜問わず点灯している箇所があり、そのような箇所はランプの定格寿命から、約40日に1度ランプの交換作業が必要となっていますが、高輝度LEDを導入することにより、交換の周期が従来の約4倍の約4.5年に1度となり、大

幅にメンテナンス作業の効率化が図られます。【写真2】

引き続き省電力化及び作業の効率化を図るため、新たな光源の導入を検討してまいります。

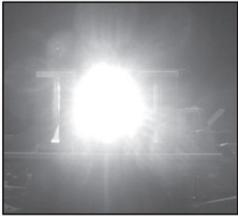
ハロゲンランプ	高輝度LED
	
定格寿命:1000h 交換周期:約40日	定格寿命:40000h 交換周期:約1600日(4.5年)

写真2 指向灯光源への高輝度LED導入

## 7 〈灯台ONEタップビューのすゝめ〉

「灯台ONEタップビュー」とは、普段公開を行っていない灯台等から見た360度の景色や灯台内部をスマートフォンやパソコンでバーチャル散策できるサイトです。このサイトは、海上保安官に



【リンク】  
灯台ONEタップビュー

よって開発され、平成29年11月1日、第三管区海上保安本部のホームページにて運用が開始し、その後も対象となる灯台等を順次拡大し、現在では海上保安庁のホームページでも公開しているものです。

今般、新型コロナウイルスの感染予防の観点から不要不急の外出を控えることを求められ、自宅にいる時間が



スマホで観る「灯台ONEタップビュー」

多くなったという方も多くおられると思います。そのような中でも自宅にいながら全国80箇所以上の灯台等からの景色を楽しむことのできるツールとして、「灯台ONEタップビュー」が令和3年7月にバラエティ番組「タモリ倶楽部」（テレビ朝日）で取り上げていただきました。また、同番組放送後、Twitterなどでは視聴者の方々からの高評価の声をいただきました。

在宅時間が多くなった今だからこそ、ぜひ全国各地の灯台に「灯台ONEタップビュー」で足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 8 〈コロナ禍における夏季の海難発生状況〉

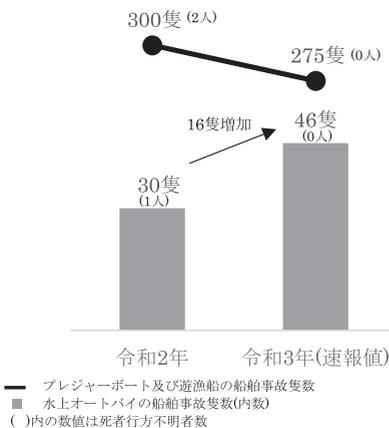
令和3年7月及び8月の夏季期間中に発生したマリッジヤー活動に伴う船舶事故及び人身事故は、令和2年の同期間中と比較すると、全体的に減少しましたが、船舶事故においては水上オートバイの事故が増加したほか、人身事故においては遊泳中の事故が微増し、特に開設されなかった海水浴場、いわゆる不開設海水浴場における遊泳者の事故者数が大きく増加しました。

具体的な発生状況は、下図のとおりです。

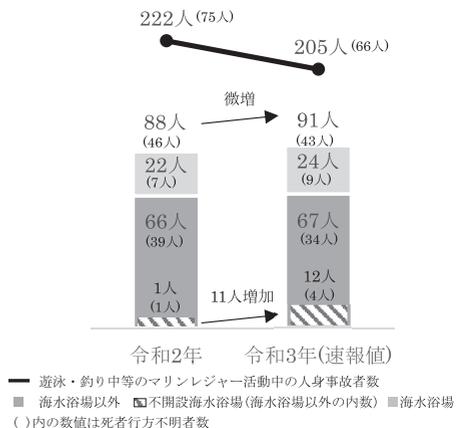
マリトレジャーを取り巻く情勢の変化として、小型船舶操縦士試験の合格者増加やマリトレジャー市場の活況に係る報道がなされ、事故の増加が予想された中、マリトレジャー活動に伴う船舶事故及び人身事故が減少傾向となった理由として、まず、海上保安官による積極的な海難防止活動や国の関係機関、自治体及び民間の関係団体と連携した沿岸部の合同パトロール等が精力的に実施されたことが挙げられます。また、地域によっては天候に恵まれなかった日が多かったことのほか、多くの地域に緊急事態宣言等が発出されたことで令和2年に比べて国民のマリトレジャー活動が抑制され、結果として事故の減少に繋がった可能性があると推測しています。

一方で、水上オートバイに係る船舶事故は、全国的に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置の徹底が呼びかけられていた状況下でありつつも、水上オートバイ愛好家の活動は活発であり、新規に海技免状を取得した、いわゆる初心者による事故が増加した可能性があること、また、不開設海水浴場における遊泳中の人身事故は、令和2年に比べ不開設海水浴場が増加するなか、天候に恵まれた日に不開設海水浴場で遊

船舶事故隻数と水上オートバイの事故隻数（7-8月）



人身事故者数と遊泳中の事故者数（7-8月）



泳し事故に遭った方が多くいたことが、それぞれ特徴として挙げられます。

海上保安庁では、引き続き関係機関等と連携した海難防止に係る周知啓発活動のほか、合同パトロールや現場での安全指導を行い、積極的な海難防止活動を行っています。

## 9 〈マリネレジャーの安全対策について〉

新型コロナウィルスの影響から三密を避けたレジャー人気が高まっており、マリネレジャーも同様に人気が高まっているところです。

このような中、令和3年7月31日及び同年8月8日に兵庫県明石市において、同年8月21日に神奈川県逗子市において水上オートバイの危険操縦事案が、同年9月15日には兵庫県淡路市において3名乗り水上オートバイによる消波ブロックへの衝突死亡事故が発生し、これらの事案は連日報道で大きく取り上げられ、社会的反響が大きな事案・事故となりました。海上保安庁では、同種事案・事故の再発防止に向けて、国の関係機関、自治体及び民間の関係団体と連携し、沿岸部の合同パトロールを実施したほか、地域の安全対策

協議会へ参画し、水域の安全利用に向けたルール作りを協力しています。

また、SUP（スタンドアップ・パドルボード）は手軽に購入できることもあり、近年利用者が増加し、知識・技能不足の初心者による帰還不能事案が増加しており、令和3年9月5日には、福井県高浜町において漁船とSUPの衝突死亡事故が発生しました。海上保安庁では、これらの事案・事故に対処するために、令和3年度、SUPにかかる専門的知識・技能を有する方を「海の安全推進アドバイザー」に委嘱するとともに、関係団体と協力し、SUP初心者向けの安全啓発リーフレットを作成するなど安全対策の推進に取り組んでいます。

さらに、海上保安庁では、新たな取組みとして、「海難防止指導官養成研修」を実施しました。この研修は、海難防止の指導者となる海上保安官を養成するため、各管区から選抜された11名の海上保安官に対し、水上



研修科目：SUP実技（SUPの特性に係る説明）

オートバイ、SUP、カヌー等の様々なマリンスポーツアクティビティの専門家等から、マリンスポーツアクティビティごとの知識・技能及び海難防止に係る指導法を習得させるといった体験型研修です。

同研修を修了した海上保安官が、海難防止指導に当たる現場の海上保安官に対し、研修で習得した知識等を基に指導することで、現場の海上保安官の海難防止指導能力の向上を図ってまいります。

海上保安庁では、引き続き、これらをはじめとした海難防止に係る取り組みを通じ、マリンスポーツ愛好者の安全意識を向上させ、事案・事故の減少を図っていくこととしています。

10 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における交通安全確保への取り組み

オリンピック・パラリンピックは世界のスポーツの



研修科目：座学（小型船舶の機関故障）

祭典であり、世界中の耳目を集めるイベントです。新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、1年の延期を乗り越え、令和3年7月から約2か月に渡り、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。海上保安庁では、同大会の安全かつ円滑な開催及び海上の治安確保のため、

東京2020  
オリンピック・パラリンピック競技大会

### 東京港内海上警備への協力をお願いします！

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催にあたり、海上保安庁では、競技会場周辺海域における海上警備を実施します。

これに伴い、東京港内の一部海域において、「航行自粛海域」及び「停留自粛海域」を設定します。航行自粛海域内への進入を自粛するとともに、停留自粛海域内では停船いたします。速やかに航行するようお願いいたします。

なお、航行自粛海域・停留自粛海域付近には、海上保安庁の船舶を配備しており、必要に応じ、安全確認を行っていただく場合があります。

皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

東京港内においては、本リーフレット掲載の内容のほか、海域利用者による自主航行ルールが設定されています。  
▲本ホームページ上で最新のお知らせを発行しています。  
 https://hcs.spa.go.jp/2020/competition.html

第三管区海上保安本部

航行自粛海域・停留自粛海域の指定期間

	2021年7月	8月	9月
海域A	7/23 - 7/25 7/26 - 7/28	8/18 - 8/20 8/21 - 8/23	9/18 - 9/20 9/21 - 9/23
海域B	7/19 - 7/21 7/22 - 7/24	8/14 - 8/16 8/17 - 8/19	9/14 - 9/16 9/17 - 9/19
海域C	7/23 - 7/25	8/18 - 8/20	9/18 - 9/20
上記以外	7/23 - 7/25	8/18 - 8/20	9/18 - 9/20

※本ホームページ上で最新のお知らせを発行しています。  
 https://hcs.spa.go.jp/2020/competition.html

海上保安庁リーフレット

め、東京港内の一部海域に『航行自粛海域』（※1）及び『停留自粛海域』（※2）を設定しました。

当該自粛海域は、通航船舶の実態を調査のうえ、航行可能な水域の減少に伴う船舶交通への影響等を勘案するとともに、法令に基づき航行を制限せず、東京港を利用する官公庁、海事、レジャー、サービズ業等の海域利用者への説明や協議を通じ設定したものです。



安全への思いを大切にして  
#2021 CRUISE RULES

2021年・東京の海で  
安全への想いをひとつに  
ALL FOR SAFETY

東京2020オリンピック・パラリンピック  
期間中における自主航行ルールにご協力ください  
運用期間

2021年  
7月13日火～9月8日水

自主航行ルールとは  
航行に際しては、多くは航行の自由を確保しつつ、航行の安全を確保し、航行の秩序を維持することを目的として、航行の安全を確保するための航行ルールを設定しています。

2021 Port of Tokyo 航行安全推進プロジェクト プロジェクトメンバー  
主催：国土交通省 協賛：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県、静岡県、愛知県、岐阜県、富山県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長門県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

この航行安全推進プロジェクトは、以下のウェブサイトでも紹介しております。  
<https://www.aom.jp/2021/forusers/> <https://www.aom.jp/2021/forusers/>

東京ガゼット 船主には東京ガゼットを閲覧し、航行の安全を確保するための航行ルールを確認してください。  
水産総合センター 〒156-0001 東京都港区芝浦2-15-15 STUCKAビル [www.aom.or.jp](http://www.aom.or.jp)

お問い合わせ先：2021 Port of Tokyo 航行安全推進プロジェクト事務局 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 [www.aom.or.jp](http://www.aom.or.jp)

## 2021 Port of Tokyo 航行安全推進プロジェクト リーフレット

さらに、当該自粛海域に加え、東京港を利用する民間団体が、同大会期間中における船舶交通の秩序を維持し、事故の無い安全安心な東京港にしたいという強い想いのもと、「Port of Tokyo 航行安全推進プロジェクト」を立ち上げ、自主航行ルールを定めました。こうした自粛海域及び自主航行ルールを定めただけでは効果はなく、当該海域の利用者への理解の深化及び同海域利用者との信頼関係の構築が肝要なことから、海上保安庁では同大会の開催される数年も前から関係先に繰り返し訪問のうえ説明を継続してきました。

その結果、同大会期間中、東京港内において船舶交通に大きな混乱はなく、船舶交通の安全を確保することができました。今回の自粛海域及び自主航行ルールの設定並びにCR (Community Relations) 活動などの一連の取り組みは、新たな手法としての礎となり、今後も船舶交通の安全確保に努めていきます。

(※1) 船舶の航行の自粛を要請する海域

(※2) 船舶の航行は可能であるが、速やかに通り抜けることを要請する海域

## みちのく灯台プロジェクト

# 大間埼灯台点灯100周年記念式典

青森海上保安部交通課

大間埼灯台（青森県下北郡大間町）が1921（大正10）年11月1日の初点からちょうど100年を迎えるとともに、153周年灯台記念日でもある令和3年11月1日（月）、青森海上保安部は、みちのく灯台プロジェクトの一環として、大間埼灯台が一望できる本州最北端の地である青森県下北郡大間町の大間埼において「大間埼灯台点灯100周年記念式典」を挙行いたしました。また、これを記念し、100周年の前夜及び当日、同灯台をライトアップしましたので、その概要を次のとおりご紹介します。

### ●大間埼灯台点灯100周年記念式典

令和3年11月1日（月）、午後2時からの式典開催を間近に控えた大間埼では、3年前の灯台150周年にあわせて収録された海上保安庁音楽隊の演奏によるイギリス民謡「灯台守」が静かに流れ、また、会場の演台の隣に展示された「第5等不動レンズ」は太陽光

を反射して光り輝き、厳かな雰囲気醸し出しています。約600メートル沖合の弁天島では、今夏、約15年ぶりとなる外壁や防水等の大規模改良改修工事を終え、美しい姿になった大間埼灯台も光り輝いています。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として三密回避を徹底するため、最小人員、

最短時間かつ屋外での開催に拘ったこの式典でしたが、関係者の心配とは無縁であったかのように晴天に恵まれることとなり、会場に集まった大間町等青森県下北半島在住の関係者20名は、司会者からのフレネルレンズ発明や観音埼灯台（神奈川



【大間埼での式典の状況】

県横須賀市）建設開始等の航路標識の歴史や大間埼灯台100年の歩みについての説明を静かに聴きながら式典開催を待ちます。

そして定刻となった午後2時、記念式典が挙行されました。

はじめに、山下雄一郎青森海上保安部長から「永きにわたり津軽海峡を航行する船舶の安全を見守ってこられたのは、不便な生活環境と困難な勤務条件の中、職務を遂行されてきた我々の先輩である『灯台守』の方々や、日々灯台を見守ってくださっている地域のご支援



〔青森海上保安部長あいさつ〕



〔大間町長祝辞〕

の賜物。先人の不断の努力によって守り続けてきた灯台の火を守るといふ『守燈精神』を次世代に継承するという信念をもって、引き続き、安全かつ効率的な船舶の運航の実現に努め、地域の方々の期待と信頼に応えていく。」とご挨拶申し上げました。

次に野崎尚文大間町長から「（大間埼灯台は）初点以来、津軽海峡を航行する船舶をサポートする役割を果たしているほか、大間町の観光スポットとして多大な魅力を発し、地域経済の一環を大きく担っており輝いている。今後とも津軽海峡の海上交通の安全に



〔大間町長による大間埼灯台への敬礼〕

寄与してほしい。」と祝辞を述べると共に、最後に大間埼灯台に敬礼されました。

続いて、来賓である大間町の「かもまーる」とんと海上保安庁の「うみまる」くんが順に紹介されると、2人(?)は来場者に対して大きく手を振っていました。なお、「かもまーる」くんは、「大間のマグロ」が大好きな大間町のイメージキャラクターで、同町PRのために一生懸命頑張っており、この日も式典が開催されるとのことで駆けつけていただきました。頭の上にあるのは大間埼灯台のようです。

続いて、灯台絵画コンテスト2021青森特別賞の授与が行われました。

同コンテスト青森特別賞に決まった大間町立大間小学校3年生の正根杏珠さんと同じく大間小学校5年生の吉田泰良さんに対し、青森海上保安部長から賞状と副賞が授与され、場内からは一際大きな拍手が鳴り響きました。

受賞した正根さんからは「丁寧に色を塗りました。賞がもらえて嬉しいです。」と、



〔表彰された正根杏珠さん（左）と吉田泰良さん〕



〔「うみまる」と「かもまーる（右側）」〕



〔式典プログラム〕



〔記念写真〕

また、吉田さんからは「灯台、船、マグロやカモメなど大間にあるものをたくさん描きました。」といった感想を頂きました。

このほか、同コンテスト青森特別賞に決まったむつ市立田名部中学校1年生の相内柚葉さんと、同じく銅賞に決まったむつ市立田名部中学校2年生の高田莉羅さんが紹介されました。

そして午後2時20分、僅か20分足らずではありましたが、厳粛かつ盛大に挙行された記念式典は無事に終了いたしました。



〔ライトアップされた大間埼灯台〕



〔ライトアップを楽しむ方々〕



〔マグロモニュメントと大間埼灯台〕

## ● 大間埼灯台ライトアップ

青森海上保安部では、大間埼灯台点灯100周年を記念し、100周年前夜の10月31日(日)及び当日の11月1日(月)の日没から午後10時頃まで、同灯台の大間町側(陸上側のみ)をライトアップしました。

昨年実施したイベントよりも大幅に光量等を上げ、LED投光器は実に昨年比3倍となる9台と携帯用発電機3台により実施したライトアップは、この100周年にあわせて大間町により綺麗にお色直しされ

たマグロモニュメント等がある大間崎に多くの町民の方、また、遠くはわざわざ関東から駆けつけていただいた方等多くの方々が集まり、今回も、普段は見ることのできない幻想的な夜の大間崎灯台を楽しんでいました。

### ●「灯台絵画コンテスト2021」青森特別賞

青森海上保安部では、公益社団法人燈光会が主催する「灯台絵画コンテスト2021」の開催にあわせ、同コンテスト入賞作品以外の作品のうち、「大間崎灯台のある風景」を描いた作品の中から特に優れた作品を選定のうえ表彰することとしておりましたところ、たくさんの応募があり、その中から入賞者が決まりましたので、ここにその入賞作品についてご紹介いたします。

なお、都合により大間崎灯台点灯100周年記念式典に参加できなかったむつ市立田名部中学校の相内柚葉さん(青森特別賞)と高田莉羅さん(銅賞)には、別途、同中学校にて青森海上保安部次長から賞状と副賞が伝達されました。



灯台絵画コンテスト2021  
青森特別賞(小学生低学年の部)



題名「とうだいとマグロ」  
大間小学校3年 正根杏珠さん

灯台絵画コンテスト2021  
青森特別賞(小学生高学年の部)



題名「大間の灯台」  
大間小学校5年 吉田泰良さん

灯台絵画コンテスト2021  
銅賞（中学生の部）



題名「大間埼灯台」  
田名部中学校 2年 高田莉羅さん

灯台絵画コンテスト2021  
青森特別賞（中学生の部）



題名「大間埼灯台」  
田名部中学校 1年 相内柚葉さん



〔式典資機材満載の車両1  
奥にはフレネルレンズも〕



〔ライトアップ資機材満載の車両2〕

● 準備・撤収作業奮闘記

〜 今回も奮闘しました！〜

今回の大間埼灯台点灯100周年記念関連事業に係る現地作業は、10月31日のライトアップ準備作業に始まります。まずは職員4人が資機材満載の2台の車両に分乗し、現地に先行します。式典会場の大間崎までは青森海上保安部（青森市）から約150キロメートルです。途中、令和3年8月、台風9号から変わった温帯低気圧の影響による大雨により発生した土砂崩れにより未だ復旧工事のため一部の区間で片側通行が続



〔用船により運搬したライトアップ資機材〕



〔資機材を手に灯台に向かう〕

く下北半島内の国道279号線を安全に走行しつつ、現地まで片道約3時間30分を要します。そして、大間港で資機材を用船に載せ替え、港から約2マイル、約20分間を経て、ようやく大間埼灯台のある弁天島に着、上陸です。

資機材を灯台まで運び終えたところで、先ずは、点灯100周年を迎えた大間埼灯台に敬意を表し、青森海上保安部長から大間埼灯台に献酒を捧げます。



〔大間埼灯台に献酒を捧げる  
青森海上保安部長〕

以後は早々に設営作業開始です。昨年同様に土囊作りから始め、灯光器を所定の位置に固定しますが、昨年度比3倍となった資機材により作業量も3倍です。当日の気温は約13度。例年同時期の平均気温8度と比べても暖かな日でしたが、作業する職員にとっては猛暑日でした。もちろん、防寒衣なんて不要です。

作業は順調に進んでほぼ完了した頃、今年もライトアップイベント開催を知らせる町内放送が遠くから聞こえてきました。ちょうど1年前のまさに今頃、切りはまだまだ明るくて、輝きだした投光器は見えるものの、ライトアップイベントが果たして成功するか不安ばかりを覚えていた時間帯でしたが、今回は、昨年の経験に加えて光量も3倍としたことから、「輝きだした僕らを誰が止めることなど出来るだろう」という歌



〔投光器設営作業の状況〕



〔輝きだした投光器（灯塔踊場から撮影）〕



〔夕暮れ時に輝きだした大間埼灯台〕

が心の中で流れているであろう担当者からは、イベント成功のイメージしか沸いていないのでしょうか；、自信に溢れた表情がマスクの隙間から覗いて見えます。

この日の日没は午後4時31分。辺りが少し暗くなりかけてきた午後4時を過ぎたところで携帯用発電機を稼働、各LED投光器により輝きだした灯台を確認し、最後、島内の弁天様に対し、本日までの永きにわたり大間埼灯台を近くから見守っていたいただき点灯100周年を無事に迎えられることへの御礼と、ライトアップイベントの成功を改めて祈願し、離島しました。

イベントの結果は前述のとおりです。今年も、代わる代わるに大間崎に訪れた多くの方々からライトアップを楽しんでもいました。

さて、ライトアップ資機材の撤収作業は、11月2日に予定しておりましたが、どうも雲行きが怪しい…。式典後に天気予報を確認すると、翌日は少し風が強く、少し雨が降る模様…。先ずは11月1日の式典当日が晴天に恵まれたことに深く感謝しつつ、翌日の天候が回復することを祈って布団に入りましたが、翌朝6時30分頃に目が覚めると、日の出は6時9分の筈なのに外



〔弁天様に点灯100周年を報告〕



〔令和3年8月の大雨により一部崩落した小赤川橋（むつ市大畑町）。現在も仮橋が設置。復旧工事のため未だ片側通行が続く国道279号線〕



〔令和3年8月の大雨による土砂崩れの復旧工事のため未だ片側通行が続く国道279号線〕

はまだ薄暗く、大間埼灯台も未だ点灯しているのが見えます。外は横殴りの、全く少しではない大雨が降り、大間埼灯台では南東寄り20メートル弱の風が吹き荒れています。早々に本日の作業延期を決め、その日は、それまで開催していた大間埼灯台点灯100周年記念パネル展の撤収作業終了次第に帰庁することとして作業を進めると、大雨により下北半島内の国道279号線が通行止めになったニュース速報が入ってきました。止む無く、迂回路として佐井村へ南下し、その

後下北半島の奥地を縦断するコースで帰ることとした一行は、片道約200キロメートル、約4時間30分と往路よりも約1時間も多くなかなか、イベントをやり遂げた大きな達成感と疲労感で帰庁することとなりました。なお、その後の撤収作業はというと、帰庁後に改めて翌日以降の作業について用船船長さんに相談のところ、翌11月3日が作業日和で、それ以降はまた荒天が予想されるとのこと。このため、翌日、大間日帰り資機材撤収弾丸ツアーが組まれることとなり、急遽、

3名からなる作業チームが結成され、翌日遅くには、無事に全ての任務が完遂されました。

最後に、大間埼灯台点灯100周年記念関連事業の実施にあたり、これまでにご支援・ご協力をいただきました公益社団法人燈光会をはじめとする関係者の皆様に対し、誌面を借りて御礼申し上げます。

青森海上保安部は、これからも各種イベントを通じ、地域の方々と共にみちのく灯台プロジェクトを推進して参ります。



〔ライトアップ資機材撤収作業完了〕



〔関連事業に携わった青森海上保安部職員一同〕  
※左上は、式典当日に保安部窓口業務を支えた2人

明治期からの海の安全を見守る灯台に感謝！

## 角島・六連島・部埼灯台重要文化財指定 六連島・部埼灯台初点150周年記念イベント実施

第七管区海上保安本部交通部企画課

### 1 はじめに

第七管区海上保安本部と門司海上保安部は、昨年（令和2年）12月23日に角島灯台（山口県下関市）（写真①）、六連島灯台（山口県下関市）（写真②）及び部埼灯台（福岡県北九州市）（写真③）が国の重要文化財に指定され、また、六連島及び部埼灯台は本年11月と来年1月にそれぞれ初点から150周年を迎えることを踏まえ、明治期から永きに渡り海の安全を見守ってきたこれらの灯台に地元の皆さんとともに感謝の意を表したいと考え、様々なイベントを計画しました。

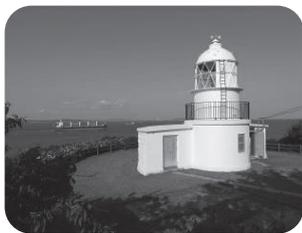
今年度当初の下関市及び北九州市と実施した打合せをキックオフとして実施に至るまで約7か月を費やし、関係各所の多大なご協力のおかげで各イベントとも大成功に



写真① 角島灯台



写真② 六連島灯台



写真③ 部埼灯台

終わりました。新型コロナウイルスの流行により、福岡県に緊急事態宣言が発令され、準備や展示が思うように進まなかったところもありましたし、それ以外に予定していた器材が整わないなど様々な障害もありましたが、関係職員が知恵を出し合い実施に向けて最善の努力を惜しまず諦めずにやり切ったことで、概ね予定どおりに実施できとても感慨深いものがありました。

紙面をお借りしまして、関係の皆様にお礼申し上げます。

## 2 灯台展

本年は153周年の灯台記念日となることに加え、現役灯台で初めて重要文化財に指定された六連島灯台及び部埼灯台が初点から150周年にあたることを記念し、両灯台の所在地である北九州市及び下関市において、パネル展示やドローン動画の放映等を実施しました。

まず、箇所の選定にあつては、下関市では水族館「海響館」が多くの人を訪れる施設であるため、この施設をターゲットに海響館の担当者及び管理者である下関市と調整を行い、時間を要しましたが依頼文書を提出することにより無償で展示させて頂くことが可能となりました。(写真④)

一方、北九州市では、無償で展示等が可能である箇所をリストアップして頂き、その結果、百貨店の井筒屋と地下で繋がっており多くの人が訪れる川・自然・環境を学ぶ施設「水環境館」に決定しました。両施設の調整には、昨年度の重要文化財指定の際に築いた協力関係を最大限活用することによりスムーズに進みま



写真⑥上下  
配布用缶バッチ

写真⑤ 水環境館  
上 パネル展示  
下 ドローン動画放映

写真④上下  
海響館パネル展示

した。

10月1日～10月21日の間に「海響館」において、次に10月22日～11月7日の間に「水環境館」においてそれぞれ展示を行いました（写真⑤）が、期間中、海響館にはのべ2万3905人、水環境館にはのべ1万1183人が来訪され、資料とともに置いていた灯台パッチ（写真⑥）やメモ帳、クリアファイルは親子連れなどに大変好評で期間中足りなくなり、追加持参したほどです。

### 3 講演会

六連島灯台と部埼灯台の重要文化財指定と150周年を記念し、全国近代化遺産活用連絡協議会※の協力を得て、令和3年度「日本博・日本の近代化遺産」の下関市におけるプロモーションイベントとして講演会及びトークセッションを開催しました。

※全国近代化遺産活用連絡協議会とは

近代化遺産の保存・活用のほか地域資源を活かした新たな文化的な観光の創出に資することを目的として設立された任意団体であり、同遺産の価値や魅力を伝えるための普及活動を実施している

計画段階ではコロナ禍のため開催が危ぶまれました

が、関係者一同の願いが叶い下関市の対岸である福岡県の緊急事態宣言も解除される運びとなり無事開催されることになりました。開催にあたっては、地元下関市の協力によりコロナ対策として下関市民会館の1400人収容のホールを貸し切り、最大2000人までの参加として計画しました。

一方で講演会の構成は非常に悩みましたが、講演会は灯台の歴史に詳しい東京工業大学名誉教授「藤岡洋保」様にお願ひし、トークセッション（写真⑦）には藤岡教授、「灯台どうだい？」編集長である「不動まゆう」様と当庁現役職員でありながら灯台史研究者である来島海峡海上交通センター情報課長「星野宏和」様に加わっていただきました。

講演会では、灯台の歴史や果たしてきた役割などについてお話しいただき、歴史を振り返るうえで非常に貴重な写真等をお見せ頂きながら講演頂きました。当庁職員を含め参加していただいた地元の方々からは、非常に勉強になったとのコメントがありました。

また、同会館では全国の近代化遺産のパネル展示や重要文化財に指定された3つの灯台のパネルも展示され、講演会場では開始までスクリーンに昨年度重要文化財指定時に作成したドローン映像が放映されました



不動様

写真⑦ トークセッション



左：藤岡教授 右：星野情報課長

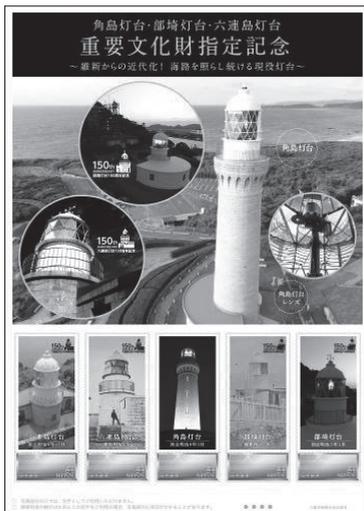


写真⑧ 現地視察

た。  
余談ではありますが、講師の方々を前日及び当日の午前中に明治期灯台である角島灯台、特牛灯台（下関市）及び部埼灯台へご案内したので、講師の方々は灯台に訪れたことはあるものの内部に入るのは初めてであり、明治期から使用されているレンズや建物など時間が許す限り写真を撮

りつつ灯台の歴史に関して永遠に：語り続けていました。講師の方々は、現地視察も非常に貴重な体験となったようです。（写真⑧）

#### 4 記念切手発売



写真⑨-1 記念切手

記念切手発売は、部埼灯台及び六連島灯台150周年記念イベントの一環として企画したもので日本郵便株式会社様に話を持ち込んでから約半年の期間を要しました。（写真⑨-1）

その作業としては、郵便局の担当者と発売に向けた様々な諸条件等打合せを進めつつ、図案作成のためにドローン撮影部隊を編成し、新たな写真撮影から開始

しました。

また、建設当時の写真は、燈光会が発行している会誌「燈光」に掲載されていた写真を探し出し提供して頂き、更に地元自治体が発行しているパンフレットに掲載している六連島灯台の写真を提供して頂きました。

記念切手は下関市及び北九州市で販売されるということで、10月の七本部定例記者懇談会に合わせ、日本郵便側から北九州地区統括郵便局長と山口県長南統括郵便局長のお二人から、第七管区海上保安本部江口本部長への贈呈式を行いました（写真⑨-2）。この様子はローカルニュースに3回も流されるほど地域の方々に認知していただくことができたよう  
うで、10月29日から郵便局等で販売されていますが、多くの問い合わせが殺到しているとのこと  
です。インターネットでも販売されていますが、販売数が限られていて品切れとの



写真⑨-2 記念切手贈呈式

嬉しい悲鳴を聞いています。七本部総務課へも「切手が買えない！」との苦情も来ているようで、その人氣が視えます。

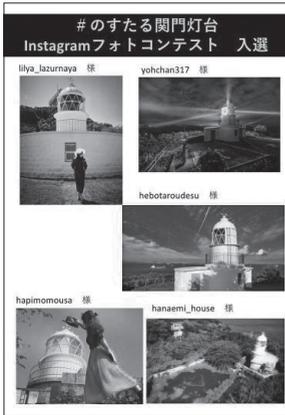
## 5 Instagramフォトコンテスト

Instagramフォトコンテストの開催には、北九州市及び下関市が主体となって地元の民間企業等と共に設立している関門海峡日本遺産協議会の主催者としての参画を取り付け、同協議会のアカウント使用や賞品等の準備、様々なツールを使用しての広報等実施に協力して頂きました。

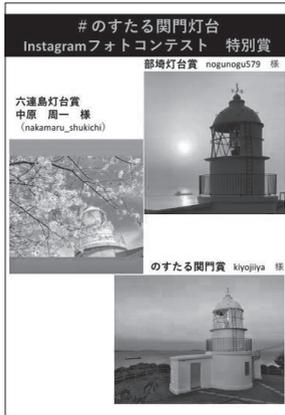
コンテストには応募総数315点もの応募がありました。定例記者懇談会に間に合わせるために非常にタイトなスケジュールにより選考することとなりました。まず、地元カメラマンの協力を得て5日間で部埼灯台15作品、六連島灯台15作品の計30作品まで絞った後、一次審査では門司保安部と七本部の職員が部埼灯台5作品、六連島灯台4作品を選考し、これらを「関門海峡日本遺産協議会」へ提出し二次審査へと進みました。二次審査の審査員は各灯台にゆかりのある、「美しい部埼灯台を守る会」（部埼灯台）と「彦島まちづくり協議会、六連島自治会」（六連島灯台）がそれぞ

れ大賞1作品と特別賞2作品、入選2作品を選定し、それに加えて「のすたる関門賞」としての1作品を関門海峡日本遺産協議会が選考する方法で合計10作品の入賞が決まりました(写真⑩-1~3)。審査基準は「地域の人々にとつて誇りとなるような作品であるか」などです。

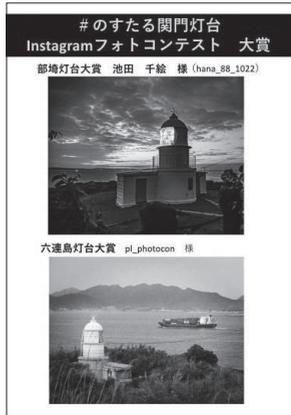
そのうち表彰式(写真⑩-4)には急なオファーにもかかわらず、入賞者の中から部塔灯台大賞1名及び六連島灯台特別賞1名の方々が出席され、江口本部長から受賞の記念として、「灯台フレネルレンズ(第5等)(写真⑩-5)」及び「関門ノスタルジック」海峡賞品詰合せ」が手渡されました。お二人とも「フレネルレンズが欲しかった!欲しくて応募しました!」と大変喜ばれておりました。このフレネルレンズ、実は分解やカットなどできる業者さんがなかなか見つからず、下関市の業者さんがこの催しに賛同され、協力していただいた結果、記念品として完成させることができました。



写真⑩-3 入選5作品



写真⑩-2 特別賞3作品



写真⑩-1 大賞2作品



写真⑩-5 フレネルレンズ第5等



写真⑩-4 受賞者との記念撮影

「関門」ノ  
スタルジック  
海峽賞品詰合  
せ（写真⑩―  
6）」は、下

関市の老舗和

菓子店「松琴堂」さん  
と老舗コーヒー店「ふ  
じ珈琲」さんにより日  
本遺産「関門」ノスタ  
ルジック「海峽」をテ  
ーマにして、商品のパ  
ッケージには部埼灯台  
や六連島灯台も掲載さ  
れたものが商品化（写  
真⑩―7）されとても  
お洒落なものとなって  
います。  
地元の方々の協力がな  
しでは実現できなかった  
ことをつくづく感じま  
す。

## 6 余談

定例記者懇談会に際し、灯台業務について記者さん



写真⑩-6 お菓子



写真⑩-7 コーヒー

に理解を深めていただくために、海上保安マイスターである海上保安庁OBの前畑正信氏（写真⑪―1）による講演をしていただきました（写真⑪―2）。全国  
の有人灯台の中で最後に太陽光発電による自動化とな  
ったのが、七管所在の「女島灯台」であり、これ以降、  
滞在型の灯台守は廃止されましたが、前畑氏はその時  
の最後の灯台守であり、最後の引揚げを経験されたの  
でした。

前畑氏は初任で十管区の草垣島の灯台守として勤務  
されており、その時の業務や生活について過酷な様子  
などもジョークを交えながら話してくださいました。  
海の時化で交代者が来ず、1か月半以上滞在すること



写真⑪-1 海上保安マイスター前畑氏



写真⑪-2 講演



写真⑪-3 昭和3年1月の女島灯台



写真⑪-4 女島灯台で執務中の前畑氏

になり食料も尽き巡視船に救助されたこともあったようです。この時、やっと交代を終え事務所に戻る際に地元漁師たちから遭難者だと間違われ、「どこで遭難したのか」と尋ねられ、髭ボウボウのうえ、みずぼらしい作業服のまま「あなた方が安心して漁に出られるよう灯台の火を守っていた」答えたところ、大変ありがたがられたといった話も懐かしそうに話されました。

また、女島灯台での最後の滞在の日、海上保安庁長官などを招いての盛大な式典が予定されていたにもかかわらず、この時も時化で式典が中止となり滞在員3名で最後の夜を過ごしたというエピソードも聞くこと

ができました。

参考までに女島灯台は戦時中、20数回の空襲に遭い終戦間近に灯台守の引き揚げ命令を受けた際、駐在の職員たちは危険が迫る中で重量物の大型レンズ等を山中に埋め回転機は五島へ持ち帰るなど、再度来島したときには直ちに灯台を運用できるよう段取りがなされていたようで、戦後、すぐに復旧し光を届けることができたのもその段取りがあったからだということですね。そのフレネルレンズ(2等)は、平成18年の滞在解消まで女島灯台で実際に使用されていたようで、全国で最後の灯台守が滞在していた女島灯台の歴史・役割を後世に伝えることを目的に永らく倉庫に保管されていましたが、この度、独立行政法人国立科学博物館と保管にかかる調整が整い、無償譲渡され同博物館の筑波研究施設内(茨城県つくば市)に保管されています。博物館としては、今後、科学技術史資料及び教育用として保存・展示等に使用することとしています。このレンズが早期に博物館に展示され、海で働く多くの人々の命を守り続けた光を誇りに感じつつ、未来永劫、後世の人々に灯台守の歴史を語り継ぐことを期待しています。

# 伊王島灯台点灯150周年記念イベント

## 伊王島灯台フェスティバル実施

長崎海上保安部

令和3年は、長崎海上保安部が所管する伊王島灯台が、明治4年（1871年）7月30日に初点灯して150周年を迎える記念の年になります。

伊王島灯台は、慶応2年（1866年）、幕府がアメリカ、イギリス、フランス、オランダの4か国と締結した江戸条約に基づき建造された日本で最初の鉄造灯台です。

建造当初は灯塔部分が六角形でしたが、原爆の被害により、四角形の鉄筋コンクリートの灯台として再建されました。

しかし、地元の方々から、建造当初の六角形に戻してほしいとの強い要望があったことから、平成15年（2003年）六角形の姿に改修されました。

このように、伊王島灯台は地元の方々から愛される灯台であり、長崎港を出入りする船にとつての重要な道しるべでもあります。

この伊王島灯台の150周年をいかに盛り上げるか

検討に検討を重ねた結果これを記念するイベントとして、11月3日、伊王島灯台フェスティバルを実施いたしました。

伊王島灯台フェスティバルは、「今までの伊王島灯台一般公開で実施したことのない特別なイベントをやる」というコンセプトのもと、構想期間約1年、新型

伊王島灯台フェスティバル  
～150周年からのNEXT STAGE～

伊王島灯台

日時 令和3年11月3日（水）午後3時～午後6時30分  
※荒天の場合は、11月6日（土）に延期することがあります。

場所 伊王島灯台（長崎市伊王島町1丁目3240）  
※当日は、ふれあい広場からコミュニティバス及び送迎バスが出ます。

イベント情報

- 海上保安庁ジェット機飛行展示
- “初”夜間の灯台内部見学会
- 灯台から餅まき
- 鎮西学院大学  
ジャズアンサンブル部  
コンサート
- 灯台点灯式
- 海上保安庁の制服を着て記念撮影
- スタンプラリー

※スタンプラリー参加者には抽選で景品をプレゼント！ その他、ご来場者には記念グッズをプレゼントします。（数に限りがあります。）  
※業務等により、イベント内容が変更になる場合があります。

＜問い合わせ先＞ 長崎海上保安庁交遊課 Ⅱ：095-829-2819  
Ⅲ：095-829-2819 福岡 海上保安協会長崎支部、長崎市伊王島灯台センター、I Land Nagasaki



コロナウイルスの脅威と闘いながら、交通課職員全員で素晴らしいイベントにしようと、地元関係各所からの協力を得ながら企画、実施したイベントです。

複数の外部機関との調整の際には、なかなか認識の共有ができず、調整が難航することもあり、とても苦労しました。

さて、今回伊王島灯台フェスティバルで実施した企画は左記のとおりですが、ここからそれぞれについて紹介して参ります。

- 1 灯台内部の一般公開
- 2 ジェット機MAJ575わかたか1号の飛行展示
- 3 表彰式
  - (1) 伊王島灯台フォトコンテスト表彰式
  - (2) 灯火監視協力者表彰式
  - (3) 灯台絵画コンテスト表彰伝達式
- 4 制服試着記念撮影
- 5 灯台から餅まき
- 6 スタンプラリー
- 7 鎮西学院大学によるジャズコンサート
- 8 灯台点灯式

ジェット機MAJ575わかたか1号のローパス

北九州航空基地にご協力いただき、伊王島灯台の横を低速低空で飛行していただきました。

来場者の方々からは、「かっこいい」「すごい」との声があがり、とても喜んでいただきました。

この時、筆者は、イベントに来た来場者の多さに面喰い、航空機が飛んでくる方向を間違つてアナウンスしてしまいました。テレビカメラもいたので、とても恥ずかしかったです。

### 表彰式

伊王島灯台フェスティバルの中で、次の表彰式を実施しました。

- (1) 伊王島灯台150周年フォトコンテスト表彰式
- 伊王島150周年フォトコンテストとは、伊王島でリゾートホテルを経営するi-land nagasakiさん



MAJ575わかたか1号と伊王島灯台

## 伊王島灯台フォトコンテスト受賞者



長崎部長賞（最優秀賞）  
受賞者と長崎海上保安部長



i+Land nagasaki賞（最優秀賞）  
受賞者とi+Land nagasaki副総支配人



海上保安協会長崎支部長賞（優秀賞）  
受賞者と海上保安協会長崎支部長



灯火監視協力者表彰式  
野母商船株式会社「鷹巣」の船長と  
長崎海上保安部長

(2) 灯火監視協力者表彰式  
伊王島灯台の灯火監視協力者である野母商船株式  
会社が今年度長崎海上保安部長賞を受けました。

です。

- ・入賞 7点
- ・海上保安協会長崎支部長賞（優秀賞） 1点
- ・i+Land nagasaki賞（最優秀賞） 1点
- ・海上保安部長賞（最優秀賞） 1点

が主催したイベントで、インスタグラムを利用し、  
一般の方から伊王島灯台を撮影した画像を募集した  
ものです。賞の内容としては

(3) 灯台絵画コンテスト2021表彰伝達式  
当部管内中学校の生徒さんが伊王島灯台を描き  
募され、銅賞を受賞し  
ました。

航空機のイベントが  
終了した時点で、もの  
すごい数の伊王島灯台  
参観の来場者が入口に  
集まっていました。表  
彰される方々も、表彰  
する方々もとても緊張  
したことと思います。

伊王島灯台入口前で集まる来訪者と  
報道関係者

灯台絵画コンテスト  
で銅賞を受賞した作品  
です。

とても中学生が描いた  
絵には見えないと驚  
きました。

この作品でも銅賞と  
は、灯台絵画コンテ  
ストのレベルの高さに  
さらに驚かされました。



灯台絵画コンテスト  
中学生の部 銅賞



灯台絵画コンテスト  
入賞者と長崎海上保安部長

## 制服試着記念撮影

イベントが開始されて1時間は来場者がとても多く、制服試着コーナーも大盛況でした。

お子様連れの方から、カップルまで、様々な方が制服を試着し、伊王島灯台をバックに記念撮影をされました。

撮影をされた方々は皆さん笑顔で、とても喜んでいました。

また、地元テレビ局のアナウンサーが、制服を試着し、記念撮影した画像をインスタグラムにアップしていただき、伊王島灯台の周知活動にご協力(?)していただきました。

## 灯台から餅まき

このイベントは、今年、筆者が新居を建てた際、新型コロナウイルスの影響により、餅まきができなかつたことを交通課内で話していた時、「じゃあ、伊



安全帯とヘルメットとハッピーをしっかりと着用して餅をまき続けるルーキー

王島灯台でやるう」という冗談から始まり、実際にや  
つてしまったものです。

長崎交通課のルーキーが見事にその大役を果たして  
くれました。

餅まきを楽しみにしていた来場者の方々が灯台の周  
りに集まり、当課のルーキーの「よいしょー」の掛け  
声でまいた餅を上手にキャッチしていました。

集まった来場者の方々はとても喜んでおり、また、  
餅まきの様子も地元テレビにも放送され、本イベント  
は大成功いたしました。

## 鎮西学院大学によるジャズコンサート



鎮西学院大学ジャズアンサンブル部の皆さん  
に演奏するバックを夕日

伊王島灯台のイベン  
トを盛り上げるため、  
音楽はかかせないでし  
よ！と、いうことで、  
様々な方々にご意見を  
伺いながら、演奏をし  
ていただけるところを  
探すこととなりました。

まず初めに海上保安

庁音楽隊に出演の依頼について調整を行いました  
が、すでに他の予定が入っているとのことで出演して  
いただけませんでした。

様々な関係者に問い合わせをしたところ、鎮西学院  
大学ジャズアンサンブル部の方々が快く了承して  
いただきました。

イベント当日は風が強く、また、伊王島灯台前のご  
つごつとした砂利の上、コンパネを敷いたとはいえ、  
演奏環境は決して良くない状況で演奏していただいた  
鎮西学院大学の方たちには本当に感謝しかありませ  
ん。

来場者も足をとめて演奏を聴いていました。

## 灯台点灯式

伊王島灯台フェスティバルの締めであり、今回もつ  
とも力を入れたイベントで、日没に併せ、伊王島灯台  
をライトアップするというものです。配線はどうしよ  
うか。電源はどのようにとろうか。などなど、様々な  
課題があり、また、LEDライトが点灯しない、イル  
ミネーションの長さが足りないなどの様々なトラブル  
が発生しましたが、安全対策係長及びベテランの安全  
対策係兩名の電気配線技術、長崎市伊王島地域センタ



長崎海上保安部長撮影の  
伊王島灯台のライトアップ



ライトアップされた伊王島灯台

1のご協力を得て、なんとかイベント当日までに準備することができました。

苦勞してセッティングしたイルミネーションは、1日で撤去するのがもったいないと感じるほどきれいなものでした。

最後に、今回のイベントについて、正直うまくいくかどうか開催当日まで半信半疑の状態でした。

た。しかし、いろいろな方々の協力をいただき、なんとか無事にイベントを終えることができました。本当にありがとうございました。

これから50年、100年先も長崎港の入口を伊王島灯台が灯し続け、地域の方々に愛され続けるような灯台になってもらえればと思っています。

【ご協力いただいた団体等】

公益社団法人燈光会

公益財団法人海上保安協会長崎支部

長崎市伊王島地域センター

一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会

i+Land nagasaki

鎮西学院大学ジャズアンサンブル部



安乗埼灯台



大王埼灯台

鳥羽海上保安部は、令和3年11月3日(水)、志摩市灯台活用推進協議会(以下「協議会」という。)と連携し、安乗埼灯台及び大王埼灯台のダブル一般公開を行いました。

灯台のダブル一般公開に約1,000名が来訪!

地域連携により実現

鳥羽海上保安部交通課

## 灯台記念日関連行事

令和3年4月30日(金)の第1回協議会において、「今年の灯台記念日は、安乗埼灯台及び大王埼灯台を同時無料公開できないか。」との意見が出され、オプザーバーとして出席していた交通担当次長が、「協議会と連携して行うのであれば可能」と回答し、協議会が協力することです承され、両灯台にてイベントを行うこととなりました。例年は、大王埼灯台のみでの一般公開でしたので、ダブル公開は、初めての試みとなるものでした。

## 祝 灯台記念日



NHK津放送局の取材模様（安乗埼）



入場118番目来訪者への粗品進呈（大王埼）



未公開写真の一部（浜離宮恩賜公園）  
船の科学館提供

協議会の事務局である志摩市観光課と灯台記念日イベントについて、事前打ち合わせのうえ、令和3年10月12日（火）の第3回協議会にて企画書の説明を行ったところ、安乗岬園地にて「にぎわいマルシェ（売店）」を行うなど、更なるイベントを盛り上げる追加企画が採択されました。

両灯台の一般公開については、事前に四本部、当部及び志摩市が広報を行っていたため、中日新聞及び読売新聞からイベント直前に取材があり、両新聞社とも当日の11月3日の朝刊に灯台無料公開の記事を大きく

掲載いただいたため、安乗埼灯台には当日578名、大王埼灯台には384名の来訪者がありました。特に安乗埼灯台は、初代灯台の起工日（1871年11月1日）から150周年を迎えたことから、重点的に広報を行いましたので、当日は、NHK津放送局の取材があり、夕方のニュースにて約1分30秒の一般公開の模様が大きく取り上げられました。

また、新聞記事に初代安乗埼灯台のペーパークラフトを先着100名配布や未公開の初代安乗埼灯台の写真展などレア感いっぱい企画が掲載されたことか

## 祝 灯台記念日

ら、安乗埼灯台には、想定200名のところ約3倍近くの方に来訪していただき、ペーパークラフト、海上保安協会のグッズ品、マルシェの物販品は約4時間後には無くなる大盛況となりました。

今回の灯台ダブル一般公開で懸念していたのは、安乗埼地区の狭隘な道路と駐車場不足の問題でした。安乗埼灯台、安乗岬園地用の駐車場は、20台程度のキャパであるため、灯台近くの旅館等3軒に臨時駐車場を事前にお願ひし、プラス40



安乗埼灯台近くの駐車場の状況



安乗岬園地でのマルシェの状況

台確保していましたが、それでも、ほぼ満車に近い状態が終日続きました。

特に昼過ぎには、多数のマイカーが押し寄せたため、駐車場班から悲鳴の無線連絡があり、遊撃であった交通担当次長及び志摩市観光課職員3名が応援に加わり、狭い道路での車の行き会いの交通整理にあたりました。なお、安乗埼灯台に巡回パトロールに来られた警察のパトカーが行き会いできず、パトカーを海上保安官が誘導する珍場面もありました。

今回の灯台ダブル一般公開日は、週半ばの祝日であり、コロナ関係の制約がある程度緩和されたため、日帰りにて三重県内の近場の方が多く来訪されたようです。安乗埼灯台と大王埼灯台との距離は、陸上で約13



安乗埼灯台名板への献花

キロメートルありますが、新聞を見て来訪された方によると、今回は両灯台とも見学するという方が結構おられました。また、両灯台をダブル公開したことにより、ある程度、灯台来訪者の分散が行われたのではないかと考えています。

なお、燈光11月号にて記載させていただいたように、安乗埼灯台の名板は、故田村元先生に揮毫していただき、事前準備が11月1日であり、先生の7回忌命日となることから名板の下にお花を供えさせていただきました、11月3日のイベント終了まで飾らせていただきました。

当部から10名、協議会から14名の総勢24名体制で対応した灯台ダブル公開のイベントは、両灯台で約1000名の来場者があり、大成功に終わったと考えています。

これも地域の方と連携して行わなければ、成し得なかったものと思います。灯台を見学され、帰る際には、「ありがとうございました。」と声をかけてくれる方が多く、イベントは肉体的に疲れましたが精神的には、清々しい気持ちでした。

## 海と灯台ウィーク 佐田岬灯台の公開

「海の体験合宿（海と日本プロジェクト）」と

コラボ＆一般公開

松山海上保安部



地の最西端に登場した  
佐田岬  
うみまる

ト愛媛事務局である地元テレビ局が主催する「佐田岬半島海の体験合宿」への協力を、2つです。後者では宇和島海上保安部にも協力を頂き、佐田岬灯台での体験学習を通じた安全啓蒙活動を実施しましたので、これら一連の様子をご紹介します。

## 佐田岬灯台一般公開

灯台記念日行事として11月3日に行いました。北は札幌から南は大分まで、色々な方々に四国最西端の絶景を満喫して頂きました。見学者の中には「何で、そんな事まで知ってるの?」と聞きたくなる程の灯台女子高生が母親と来てくれたので、航路標識の説明にあ

## 祝 灯台記念日

わせ終始マンマークで採用案内したところ、来年は海上保安学校を受験し(させ)ます！の言葉も。単一の祝日だったせいか前年比5割程の参観者でしたが、報われた気持ちで次の行事対応に邁進です。

続いて、海と日本プロジェクトによる海の体験合宿は、愛媛県内の小学5・6年生を対象として、佐田岬半島の「海の恵み」と「海の安全」について体験しながら学ぶというコンセプトにより企画されたものです。11月6、7日の全2日間の行程で行われ、初日は「海の恵み」について地元漁協等の協力でシラス漁を体験、獲れたシラスを使っ



将来の後輩とパシャパシャ

てピザを作るなどの食育が実施され、2日目に「海の安全」について当庁による講話、佐田岬灯台の施設公開等を実施しました。

### 航路標識の役割について

灯台見学の前に、まずは座学です。地元役場の会場にて、航路標識の役割や佐田岬灯台の歴史に関する講話をしました。見学者の中には、事前に家族と佐田岬灯台を訪れ予習していた熱心な児童もあり、子供たちの前のめりな姿勢に驚かされました。また、同講話の様子はテレビ局公式YouTubeで生配信され、イベント参加者のみならず広く一般の方々にも灯台の役割にも関心を持って頂ける機会となりました。

### 施設見学

座学の後は会場を佐田岬灯台へ移し、施設見学です。実は佐田岬灯台、駐車場



YouTube 生配信中の安全講話

## 祝 灯台記念日

から灯台までアップダウンの激しい遊歩道を30分近く歩く必要があるのです……が、そこは元気一杯の子供たち。途中の風景を楽しむ余裕も見せず、あつという間に灯台に到着します。

そして、いよいよ灯台内部の見学です。螺旋階段を「えつ、まだ？ええ！まだまだ続いとるー!!」

とワクワクしながら登った先で、座学で習った灯台レンズを目の当たりにし、その大きさにビックリ。また、踊り場では「対岸に見えているのが九州大分だよ」との説明を聞き、地図と見比べながら自分たちが四国の最西端にいること、船からよく見える灯台なんだと実感した様子。

施設見学終了後には、当日撮影した写真をもとに作成した缶バッジ等をプレゼントし大満足で帰路に提供してもらえました。

今回のイベントは、地元の協力やテレビ局との連携

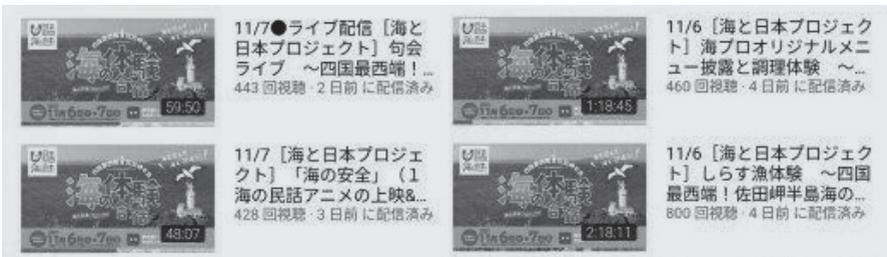


により、より効果的な活動を実施することができました。松山海上保安部では、引き続き灯台の魅力を発信していくとともに、灯台の観光資源としての活用等を地元積極的に呼びかけ、海上安全思想の普及を図っていきます。

最後になりましたが、体験合宿に協力して頂いた六管本部交通部と宇和島海上保安部の関係者の皆様、ありがとうございます。



プレゼントした缶バッジ



イベント関連 YouTube



イベント関係者全員での記念撮影

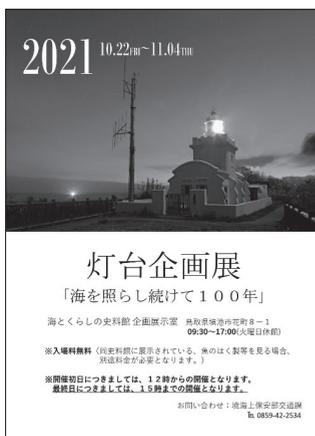
## 灯台記念日行事

「灯台企画展」海を照らし続けて100年開催

境海上保安部

境海上保安部交通課は、令和3年の灯台記念日に当たり、鳥取県境港市にある「海とくらしの史料館」にて、10月22日(金)から11月4日(木)までの間、灯台企画展を開催しました。

本企画展では、西郷岬灯台が令和3年3月31日に100周年を迎えたことから、特集として、同灯台の100周年記念フォトコンテストの入賞作品の展示や紹介動画を上映するなどして、同灯台の歴史や役割などを紹介しました。



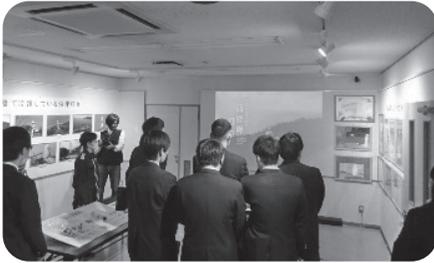
灯台企画展限定ポスター

## 祝 灯台記念日

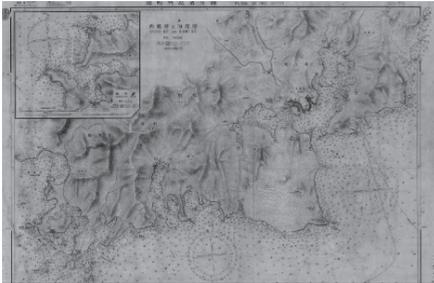
また、今年で海図150周年を迎えたということもあり、西郷岬灯台が記載されている隠岐の島の古海図の展示や、スマホなどで西郷岬灯台を探検できるような第八管区で初となる「灯台ONEタツプビュー」を当部の特設サイトにて公開しました。

そのほか、燈光会主催の灯台絵画コンテストにて、当保安部管内から応募のあった絵画作品の展示や境港の発展とともに建設された美保関灯台をはじめとした、当部が管理する航路標識の写真や灯器、電球、レンズなどの展示を行いました。

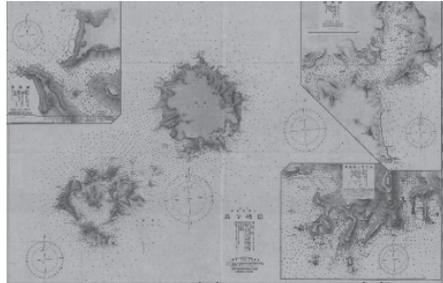
今年には前年に続き2回目の開催でしたが、期間中、地元小・中・高等学校の生徒のほか、修学旅行で訪れた学生等の見学等を含め、14日間で合計3044名もの来場者があり、前年より大きく増加しました。本企画展を通して、航路標識への理解と親しみを深め、また、境港の発展と灯台の関係を広く周知できたものと思います。



西郷岬灯台100周年ビデオ上映



(西郷港及び加茂港)



明治37年 124号 隠岐全島 (分図西郷港)



境管内の灯台説明



灯器、レンズの説明

## 祝 灯台記念日



地元小学生が急遽、見学に訪れる



オリジナルグッズ（西郷岬灯台型付箋）



地元高校生に対し灯台の役割を説明

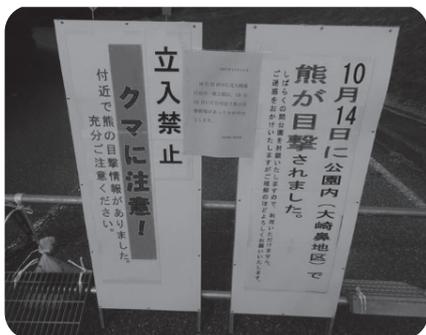
浜田海上保安部では、大岬灯台のほかに、石見大崎鼻灯台の一般公開を計画していましたが、石見大崎鼻灯台の公開の2週間前に灯台付近で熊の目撃情報があり、灯台へ向かう

昨年、『海と山のふれあい祭り』が中止となり、今年も、灯台記念日にかける灯台一般公開となりました。

浜田海上保安部では、11月1日の灯台記念日として、11月7日(日)に『大岬灯台』の一般公開を実施しました。

### 大岬灯台一般公開を実施

浜田海上保安部





見学者で賑わう灯台構内



あれは高島(益田市)だ!!

遊歩道等が全て通行禁止。熊に勝てる自信も無いので、残念ながら石見大崎鼻灯台の公開は、中止としました。  
当日は、少し風もありましたが穏やかな晴天に恵まれ、133名の方が見学に来られました。出雲日御碕灯台や三瓶山等遠方まで見る事ができ、見学者は、灯台踊り場からの絶景を眺め、その風景をスマホに納めるなど、各々で晩秋のひと時を楽しんでいました。

灯台への道の入り口にブースを設置、新型コロナウイルス対策で、マスク着用と手の消毒、万一クラスターが発生した場合に備えてグループ毎に代表者名と連絡先を記録、灯台では三蜜にならないように入場人数の調整も行い万全



### 笠利埼灯台 2年ぶりの特別公開

初点灯から60周年

奄美海上保安部

11月3日、奄美大島の北端を標す海の道しるべとして1962年3月に設置されてから60周年をむかえる笠利埼灯台を2年ぶりに特別に公開しました。



60周年で60人目の来場者へ記念品  
“うみまるぬいぐるみ”

## 祝 灯台記念日



贈呈大盛況の制服試着

奄美群島では、  
ユネスコの世界自然遺産指定決定で  
群島外からの来訪者の増加が見込まれるなか、奄美海上保安部は地域に寄添い、奄美群島の安全安心に全力で取り組みます。

の体制で行いました。  
ブースでは、海上保安庁のパンフレット、灯台や巡視船のペーパークラフトなどを配布、制服試着コーナーも設け、また、灯台の中では海上保安庁の動画や奄美群島の灯台の写真を展示して海上保安庁の理解促進に努めました。そのほか鹿児島航空基地の航空機がローパス飛行して、絶好の公開日和に奄美大島内外から302名が訪れ、普段は登ることができない灯台の上から、奄美の美しい青い海や空と緑の大地の絶景を楽しみました。



鹿児島航空基地の航空機のローパス



海と灯台プロジェクトの「海と灯台ウィーク」  
横断幕と万国旗で装飾

## 残波岬灯台一般公開

〜灯台記念日企画〜

那覇海上保安部

那覇海上保安部では、11月1日の灯台記念日にあわせ、11月3日文化の日に沖繩本島内唯一の参観灯台である残波岬灯台の一般公開を行いました。

同灯台は沖繩県が米国から返還されて間もない1974年（昭和49年）、当時まだ米軍の実弾演習場であった当地に地元の海事関係者らの強い要望により起工し、翌年度末の1975年（昭和50年）3月30日に完成、点灯しました。それから26年後の2001年（平成13年）8月には地元からの要望により参観灯台となり、さらに2009年（平成21年）2月、日本財団からの助成及び読谷村からの協力を受けて灯台資料展示室が開設されました。

そんな沖繩県有数の観光名所である残波岬灯台ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で長く参観は休止に。夏頃には「沖繩県の感染状況は世界最悪レベル」と報じられるほどの状況となり、一時は灯台記念日の一般公開も危ぶまれましたが、その後感染

状況が改善され無事一般公開を実施することができました。

一般公開当日は、風が強く少し肌寒く感じる日でしたが、晴天に恵まれ、燈光会のスタンプラリー制覇を目指して全国の灯台を巡っている方や、杖を使用し職員補助を受けながら99段の階段を登り切った80代のご婦人など、約450名の来場者が訪れました。途中ソーシャルディスタンス確保のため、灯台への入場を制限する場面もありましたが、灯台の歴史や役割、展示用に持参した灯器などの説明を行い、待機中の方々が退屈しないよう工夫しながら対応しました。

また、今年度十一管区では「美ら海灯台フォトコンテスト2021」を開催していたことから、来場者にコンテストへの作品募集呼びかけました。本コンテストは、船舶交通の安全と海上物流を支える灯台への理解を深めるとともに、観光資源である灯台を通じた地域振興の活性化を目的に開催されたもので、那覇海上保安部が毎年実施していた「残波岬灯台と美ら海フォトコンテスト」を拡大し、第十一管区内にある2つの参観灯台（残波岬灯台及び平安名埼灯台）を被写体とした作品が募集対象となっています。

一般公開当日はフォトコンテストの応募締切直前と

## 祝 灯台記念日

いうことで、最後の追い込みをかけるべく、カメラを片手に来場された方を中心に声をかけました。中には昨年も応募したので今回も応募したいというリピーターの方もおり、意気込んでいる場面もありました。このような積極的な周知活動の結果、一般公開当日に撮影された作品を含め、残波岬灯台を被写体とした写真64点の応募がありました。本稿執筆時は、まだ各賞の受賞作品は決定していませんが、いずれの作品も構図や撮影のタイミングなどに工夫を凝らした魅力ある写真でした。

最後に、普段より参観の対応を行っていただいております燈光会の残波岬支所の皆様、並びに残波岬灯台に訪れていただいた皆様に感謝いたします。



来場者への対応



残波岬灯台の  
一般公開の様子

# 海保校における ICT授業の進捗について

海上保安学校 航行援助教官室

緩やかな紅葉が感じられる舞鶴から、海上保安学校の「今」を少しでもお伝えすべく、誌面を拝借させていただきます。（記事執筆時点では10月中旬です。）

海上保安学校では、学校全体でICT授業に取り組んでいます。ICT授業とは、一言で言えば「授業のデジタル化」であり、パソコンや電子黒板、インターネットなどの情報通信技術を活用した授業のことです。とはいえ、まだまだ胸を張って誇れるレベルには程遠く、専らICT授業で使うことを意識した電子データの作成や収集を進めている状況です。現在でも、黒板とチョークを使用した方式の授業が主体ですが、学生の学力の実態として、進学校や大学中退などの者もいれば、中学校を卒業して以降、数学や物理に触れていない者もいるなど、入学時の学力差が大きいことを踏まえ、昨年度から個々の学生のレベルに応じた学習、映像を用いイメージが掴みやすい学習、新任教官の負担軽減、更には異なる教官が行う同一授業のレベ

ルの均一化等を目的にICT化を進めているところです。予算の事情により、本格的にICT授業のシステムの導入は数年後となっており、それに向けて前述のとおりICT授業の教材の準備を着々と進めています。

今年度について、4月の人事異動において、当教官室のみならず各教官室・担当課の顔触れもガラリと変わり、学校全体としてICT授業の知見を有する者が少なくなってしまうことに加えて、使用機材・授業の進め方等の理解が進んでいないこともあったため、市内のICT授業に取り組んでいる中学校・高校の見学会や勉強会が開催されることとなりました。

当教官室からも数名が手を挙げて参加したところ、見学した高校では、高速大容量の回線やサーバーなどハード面が整った校内でのタブレット利用は当然ですが、そのタブレットを生徒の自宅に持ち帰り、家庭でもインターネット回線による予習・復習・宿題提出・小テストなどが出来る環境が整えられており、当校とのギャップに最初の驚きを受けました。更に、生徒自身が授業に活用できそうなインターネット上の学習アプリ等を見つけて来て学校に推薦し、審査を通過したものを採用する制度が設けられるなど、良いものを積

極的に活用しようとするシステムや思想に2度目の驚きを受けました。また、この高校でICT授業が積極的に導入され始めたのは、昨春の新型コロナ対策による休校の時期であり、パソコンに詳しい教員が周囲にレクチャーして広めていく方式で急ピッチに普及したことでした。今では全クラスでICTが活用されており、生徒も積極的に授業に参加していることや、以前に比べて生徒が大幅に授業に集中して取り組んでいるとの説明も受け、先生方もICT授業の効果に驚かれたとのことでした。

他校への見学を踏まえて、当教官室でもICT授業に向けた準備作業に取り組んでおり、例えば数学の授業などの「数式や計算問題を投影するだけではICT化のメリットは少ないのでは？」と思われがちなものも、取り敢えず板書用ノートを電子化しプロジェクトで直接黒板に投影し授業を進めてみて検証中です。時には思わぬ気付きもあり、投影資料にチャートで補足説明を加えるなど黒板の有効活用が図れ、更に別の活用法として、縦線と横線と目盛りだけを投影して、チャートで折れ線グラフやベクトル図が短時間で簡単に作れました。また、板書時間の短縮によって生まれた時間で、しっかり学生一人ひとりの顔を見て授業する

など、学生をよく観察できるようにもなりました。

一息入れないと集中力が続かないような雰囲気の場合は、ちよつとした動画を見せることも出来るほか、チャートを使う頻度が低下したことから、教官の手や制服が汚れ難くなったことや、イメージが難しい無線設備とその理論を、映像や画像で説明できるようになったことも助かります。また、学生が興味を持ち易い現場の話題に使える時間が増えた点も嬉しいことです。

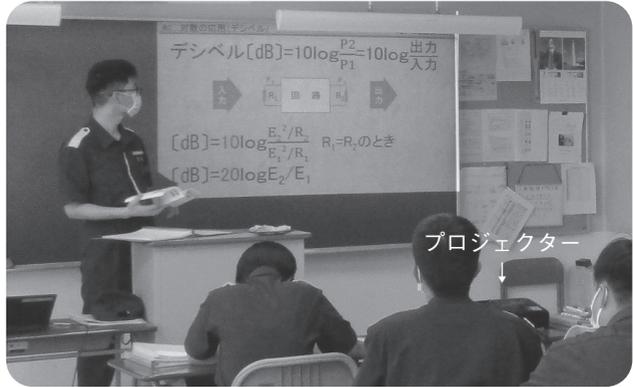
これまでも授業の進め方は、授業ノートとして教官から教官へ引き継がれてきましたが、ICT授業用の各種データは、全てサーバーに保管されるため、教官ならば「誰でも・何時でも・簡単に」関係データを使ってICT授業にトライ出来るようになりつつありますので、急な体調不良などで担当教官が休んでも、担当外の教官でもある程度はカバー出来る体制となっています。

最後に、学校教官について簡単にご紹介させていただきますますと、学生の指導は当然ですが、場合によっては学生に教えられたり気づかされたりすることもあります。新たな発見を授業に取り入れることも教官の醍醐味の一つであり、とても遣り甲斐のある仕事です。

最近発見したことは、学生が社会人のマナーに興味

を持っていたことで、例えば電話対応において「いつもお世話になっております。」や「夜分に申し訳ございません。」などの丁寧な言葉使いを教えたところ、学生の知識欲や好奇心が高まった様子でした。

学生は、一人ひとりの学力差もさることながら、持っている性格や経験、更には価値観もばらばらであり、2年間の教育期間で良いところは伸ばし悪いところは指導してはいますが、現場へ出てからも幾多の荒波に揉まれることでしょう。再会する時がとても楽しみです。

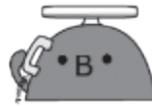


プロジェクターを使用した数学の授業風景



**「史上最大の作戦! 初年度終了!!」**  
 作戦名「浚渫ファースト」  
 備讃瀬戸海上交通センター

法定航路は、海上交通安全法及び港則法で全国に数多く設定されています。しかし、この航路が交差している箇所は、全国で3箇所しかありません。その3箇所とも備讃瀬戸に存在していません。



【ビサンちゃん】

そのうち最も交通流が交差し、危険な水島航路と備讃瀬戸北航路との交差点（以下「交差点」という。）において、史上初めての浚渫工事が始まりました。

多くの問題が激浪となって押し寄せるなか、ビサンちゃんが、かつてないほどの激務に見舞われることとなった事を、紹介させていただきます。

今回の浚渫工事の計画は、平成30年11月から学識経験者、海事関係者等からなる委員会において、一般船舶及びび工事作業船等の航行安全対策等の調査・検討がなされ、令和元年8月の委員会において成案が得られました。

工事期間は関係者と調整し、令和3年度から令和7年度の各年7月から9月までの3ヶ月間で行われることとなりました。

安全対策は、今回は、航行船舶の実態から航幅350メートル以上を確保する必要があるため、巨大船が通航する際は作業船が退避する等、法に基づく航泊禁止措置がとられず、また、委員会では、交差点において危険な見合い関係を可能な限り回避させるため、工事海域における行き会い等の



関係機関との打合せ状

自粛が求められ、発注者である四国地方整備局から、「行き会い自粛」の協力依頼が当センターになされた。

この「行き会い自粛」行き会い調整」、強制力を伴わない任意の行き会い調整を担うこととなり、ピサンちゃんは「びえくん」と泣きながら、全国的にも史上初の工事に挑むこととなります。

ボスから「史上最大の作戦、作戦名…浚渫ファースト」と命令され、行き会い調整等の戦略を考えるピサンちゃん。しかし、妙案が浮かびません。でも、そこは心強い六本部航行安全課、高松航行安全課、当センター運用管制課のエキスパートに助けられ、徐々にトネルの向こう側から幽かな光が見えてきました。

### 【作戦その1…行き会いの自粛】

行き会い調整等の自粛に係る情報提供は、第六管区海上保安本部が行う行政指導に基づき情報提供を行うこととなり、様々なシチュエーションを想定して、各班6回（総計24回）の訓練を重ねて、効果的な行き会い調整の手法を確立させました。

### 【作戦その2…監視体制強化】

通常、当直1個班は、統括運用管制官2名・運用管制官6名とありますが、作戦1の実効性を確保する

ため水島卓を2名体制とし、日勤班を通常8名のところ、9名体制とし監視体制の強化を図りました。

### 【作戦その3…連続した夏季休暇取得の自粛】

この工事期間は、夏季休暇取得時期とも重なり、また、作戦その2を実行するには、人員の確保をする必要があり、各職員に連続した夏季休暇取得の自粛を要請せざるを得ませんでした。

準備を整え、いよいよ「浚渫ファースト」が試される事と



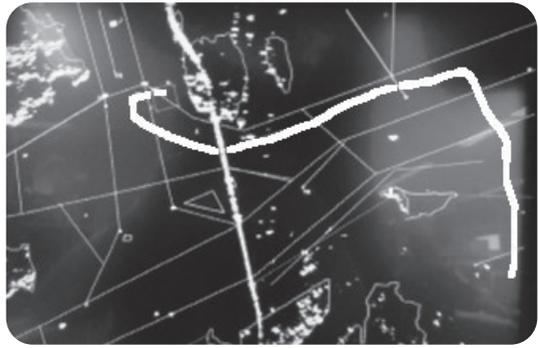
訓練実施状況（各管制卓）



検討会の状況



工事区域に向かうポンプ作業船



ポンプ作業船の航跡（白線）

なりました。

第六管区海上保安本部長から、「備讃マーチスの腕の見せ所」と有難い激励のお言葉を頂き、ピサンちゃんには「私、失敗しないので！」と心に誓いました。

しかし、具体的な施工方法を確定していく中、海域利用者との細部の調整が難航したため、今年度の浚渫工事は当初予定していた時期から約1か月遅れで現場作業が始まることとなってしまいました。この事は、誰が想像できたでしょうか？このお陰で、急遽7月中旬から各職員に「夏季休暇取得の促進」を促し、計画的な「夏季休暇」では無く、取得できる職員から順次休暇を付与することとして、計画性のない勤務日割の変更を強いられました。

8月からいよいよ浚渫作業が始まりましたが、開始後も潮流や水島航路を航行する巨大船の通航によって、度々工事が中止となる状況で、作業前日の夕方にJ Vから「明日の工事は、いたしません！」の連絡が入るや、急遽日勤者を「公休」「年休」とする処理を何回も行い、基本日割りはあって無いようなものでした。

さらに、追い打ちをかけるように、ワクチン接種に伴う副反応、発熱によるPCR検査に伴う72時間ルー



ルの勤務免除、8月27日からの「岡山県緊急事態宣言・香川県まん延防止等重点措置」により、日勤者の時差出勤が開始となり、8月はほぼ毎日、勤務日割り変更が生じ、人員の確保に追われましたが、ある意味、浚渫作業中止に救われた所もありました。

人員確保に追われる中、今年度の航路交差部浚渫工事は、9月25日をもって終了し、幸いにも本部・関係部署のご協力により工事期間中の事故の発生はありませんでした。

結果、水島航路の南西側入口付近の1-2工区は作業完了したものの、最も緊張感をもって対応した交差部の1-1工区は予定していた作業量の約1/4しか実施できず、今年度の施工状況から、「5ヶ年計画が伸びるのでは？」と思っております。

無事今年度の工事は終わりましたが、反省点を洗い出し、本部・関係部署等と意見交換し、来期に備えたいと思います。

最後に、今年度は結果として肩慣らし程度で終わりましたが、航路中央部にシフトしてくる来年度からが本番！痺れる運用が強いられますが、本部・関係部署と連携し、万難を排して取り組む所存です。

# 水深40メートルから、灯浮標やぐらを引揚げる！

光商産業株式会社 (普通会員) 山根康伸  
光商産業株式会社 岡村 淳  
セナーアンドパース株式会社 (普通会員) 五十嵐 耕

## 1 はじめに

光商産業株式会社(千葉県木更津市、社長山根康伸)は、昭和50年代に第三管区海上保安本部袖ヶ浦浮標基地へ船用品を納めたことをきっかけに、灯浮標の資材整備などを手掛けるようになりました。

今では、東京湾内の各地で、灯浮標だけでなく広く海洋構造物の設置・修理・撤去などの工事に取り組んでいます。

その現場は千差万別であり、毎回、最適の方法を探求して対応することで、海の安全・安心に貢献してきました。

今回、水深40メートルに沈んでいる灯浮標やぐらを引揚げるプロジェクトに取り組んだ顛末を、本誌面を借りて報告します。

## 2 発端

令和3年1月6日に発生した「浦賀水道航路第四号灯浮標」船舶接触事故により、灯浮標上部構造物(やぐら)が脱落し、水深40メートルに海没しました。

これを回収しなければ、新しく設置する灯浮標の鉄鎖が絡むなどの二次被害のおそれがあります。事故原因者である船主およびその窓口を務めるサーベイヤーから光商産業に相談があり、灯浮標やぐら引揚げプロジェクトがスタートしました。

## 3 計画の検討

水深40メートルでの作業となることから、現在の労働安全衛生法のもとでは、通常装備での潜水作業はできません。

そのため、再圧室・特殊混合ガス等を使用する中深

度潜水作業で対応しなくてはなりません、それでは  
保険支払限度額を超過してしまいます。

この難問に対して、常識に囚われない発想力を誇る  
光商産業スタッフがひらめきました。潜水士を使わな  
ければいいのだ！

このアイデアの肝は、近年、  
能力向上が著しい水中ドローンの  
活用です。

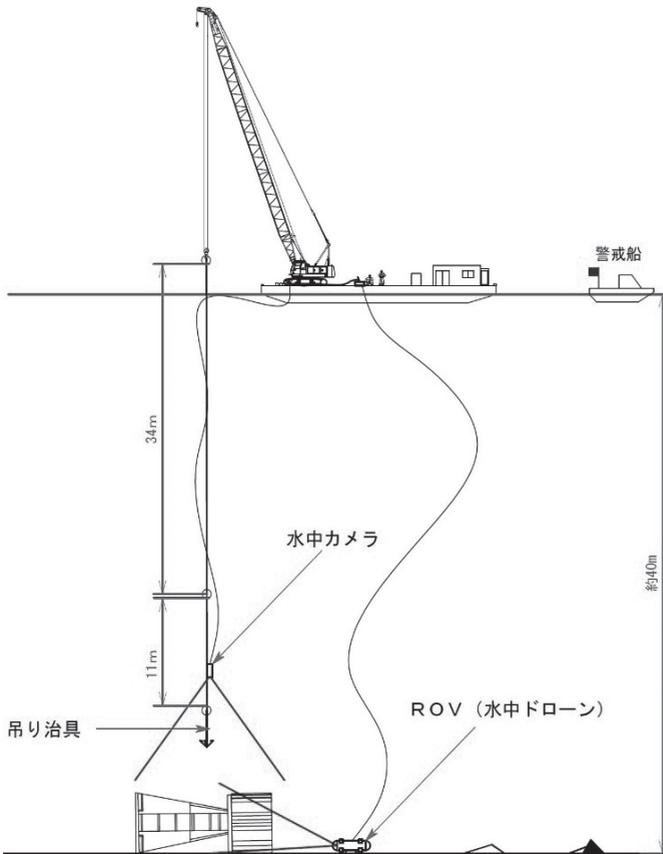
やぐらを、海底に定位させた  
水中ドローンおよびクレーンか  
ら吊り下げた水中カメラで、そ  
れぞれ水平方向と垂直方向から  
捉えます。ふたつのモニター映  
像によりやぐらの位置や状態を  
把握しながら、クレーン操縦士  
が引揚げ用ワイヤロープに取り  
付けた特製吊具を操作して、や  
ぐらに引掛けて引揚げようと  
いう大胆な計画です。

釣糸（ワイヤロープ）の長さ  
45メートルのグレートフィッシ  
ングに挑みます。

#### 4 事前調査

大胆な計画を実現するために必要なのは、周到な準  
備です。

まず、令和3年3月末および8月末に、水中ドロー



やぐら引揚げ概要

ンによる状況調査を行いました。2回とも直径38ミリの係留用鉄鎖がやぐらに絡まっていることを確認。このままでは、鉄鎖が邪魔物となり引揚げが難しくなります。暗雲がたちこめてきましたが、成功を信じて粛々と準備を進めます。

海中では電波が使えないことから、水中ドローンは空のドローンのようにGPS測位が利用できません。そこで、やぐらの海没位置は、精密測量装置を利用した深淺測量により特定しました。

令和3年10月25日の深淺測量では、やぐらに絡まっていた鉄鎖が外れていることが確認できました。前回調査後に表層潮流や風が作用して、やぐらの移動があった模様です。引揚げ成功の確率は一気に高まり、スタッフの士気も爆上がりです。

引揚げの時期は、吊具などを取り付けた旋回式クレーンの操作性および水中ドローンの操縦性に対して、潮流の影響が小さくなる小潮日とします。

腕のいいクレーン操縦士や警戒船を手配し、引揚げ作業は、ほぼ潮止まりとなる令和3年10月27日、9時から日没前17時までの間で実施することを決定しました。

## 5 やぐら引揚げ

当日は、小雨まじりの曇天。風速は5メートルでしたが、これくらいであれば引揚げに支障はありません。引揚げの工程は次のとおりです。

- ① 旋回式クレーン台船の吊りフックに、先端に特製吊具を取り付けた全長45メートル・直径50ミリの引揚げ用ワイヤロープを取り付けます。
- ② ワイヤロープ先端付近に、やぐらを上方からモニタリングする水中カメラをセット。
- ③ クレーン台船オペレーターの操作により、吊具を水深35メートルまで徐々に降下させます。
- ④ 精密測位装置により、吊具をやぐら確定位置に誘導します。水中カメラによりやぐらの存在を確認。
- ⑤ 台船上より水中ドローンを投下し、やぐら近傍に着底させます。やぐらと吊具の位置関係を確認。
- ⑥ クレーン操縦士は、操縦室に設置した水中カメラと水中ドローンの両モニタ映像を注視しながら、やぐらの適切な箇所吊具を掛けます。
- ⑦ 吊具が確実に掛かっていることを確認して、引揚げ作業を始めます。作業開始から3時間で、やぐらは台船上に引揚げられました。

## 6 おわりに

こうして、東京湾の真ん中で灯浮標やぐらを引揚げ  
るグレートフィッシングは成功裡に終わりました。

潜水士を使わない引揚げというアイデア自体は古く  
からありましたが、それを実現する技術が以前はあり  
ませんでした。

近年、能力向上が著しい水中ドローンを活用したこ  
とが、今回の成功につながりました。また、東京湾の  
水質が改善して、水中カメラからクリアな映像が得ら  
れたこともプラスに働きました。

光商産業株式会社では、協力関係にあるセナーアン  
ドバーンズ株式会社とともに、これからも常識に囚わ  
れない発想力と、その発想を支える技術力で、海の安  
全・安心に貢献していく所存ですので、よろしくお願  
いいたします。

最後になりましたが、本工実施にあたってご指導  
いただいた第三管区海上保安本部交通部の皆様にご感  
謝いたします。

Ⅱ 第三管区海上保安本部交通部ご担当者様より Ⅱ

本件の灯浮標やぐらは二次災害の恐れがある場所  
に沈んでおり何としても回収が必要でしたが、本文中

でも触れられているとおり通常の方法では金額的に困  
難な一面があり、暗礁に乗り上げるおそれがありまし  
た。そのような折、光商産業株式会社が大胆かつ挑戦  
的な方法を提案され、高い技術力とチームワークをも  
つて、やぐら引き揚げに至ったものと認識しております。

第三管区海上保安本部交通部では、今後も灯浮標等  
への船舶接触事故の早期復旧に向けて、関係各位と協力  
して参りたいと思っておりますので、よろしく願います。



やぐら引揚げ成功

— 明治の灯台の話 (番外編) —

フランス

## お雇い仏国人の書簡

灯台研究生

日本最初の洋式灯台である観音埼灯台を建設した Louis Félix Florent (以下、フロラン) は、元上司の フランス中央灯台部長 Léonce Reynaud (以下、レイノール総監) へ、彼が建設した4基の灯台に関する報告を行っています。また、横須賀製鉄所の所長 François Léonce Vernet (以下、ヴェルニー)、副所長 Jules César Claude Thibaudier (以下、ティボディエ) も、灯台完成の事実を、レイノール総監へ報告しています。



Louis Félix Florent  
(燈光会所蔵)

彼らの報告書となるレイノール総監への書簡は、現在、パリのフランス国立公文書館に保管されています。前回に続き今回は、彼らの6通の書簡の全文を紹介いたします。

最初の書簡は、観音埼灯台の設計図を作成した直後の1868年3月19日(慶応4年2月26日)付のフロランの書簡です。

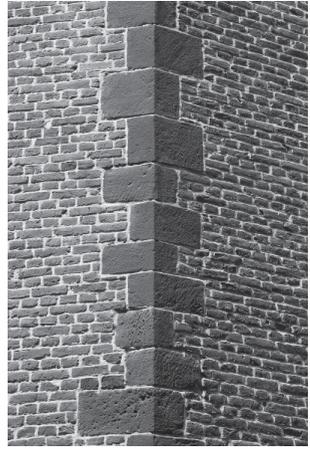
### 総監様

私は日本に到着以降、あなたから様々な詳細な助言を受けたことに感謝しております。工廠の工事は着実に進んでおります。1号ドックはほぼ完成し、数日後には2基の石灰窯を稼働させる準備が整います。

私たちは煉瓦と木材による非常に広大な作業場を建てています。石と煉瓦による最初の試みは、大変良い結果と地震の影響に対する私の心配を少しずつ解消してくれました。私たちは以前非常に強い揺れを感じましたが、まだ失望はありません。

私は観音埼灯台の設計図を書き終えたところです。

灯台は、隅石積み(注釈)の煉瓦造りで開口部は石材を用います。側面12メートル四方の建物の中央に四角い塔がそびえ立ち、灯光は海拔約35メートル、塔本体は



隅石積み  
(wikipedia写真)

地面から10・25メートルの高さとなります。円天井（ヴォールト）の代わり、灯籠は、スリーブ受けて組み立てた鉄材を用いた梁で支え、床から独立したものとします。

（隅石・石造・煉瓦造などの建物の出隅部分に積み込まれる 広辞苑より）

工事の請負業者（すべての工事は日本人の業者が行う）は、数日で、見積書を提出予定で、工事は1868年の間に行われると考えています。観音埼は横須賀からわずか1時間の距離で、私が建設監督をすることは可能です。私は、3人の職長の1人を絶えずそこに置くことは考えていません。

1等級の灯台が、下田沖のロックアイランドという

名の岩礁に恐らく建てられるようです。そこには海拔32メートルの高さの丘陵があります。その岩礁に近付くのはかなり困難で、私は目にする機会はありませんが、上陸できず、ヴェルニー氏は最近同地を訪れています。そこは、私たちの居る場所からかなり遠く、蒸気船で3日かかります。そこにフランスの監視を置く必要があることは確かです。下田の海岸には、横須賀よりも多い最大規模の石工集団が集まっています。この灯台建設計画は着実に進行しているようです。

イギリス人は、1等級と2等級の2個の灯台の器械を受け取りました。私達は、そのうちの1つの灯台の建設を担当すると考えています。それらの灯台の位置を検討するイギリス人とアメリカ人の将校による委員会に、ヴェルニー氏に同行し、出席する機会がありました。私は、この最初の企画（観音埼灯台建設）の早期実現を強く望んでいます。この2つ（観音埼とこの1基）の塔に登れることは、日本におけるフランスの影響力を未来にいくらかでも残せることを意味します。私は、フランスの指導による灯台の運用を維持するために全力を尽くします。

ご存知かと思いますが、大君が逃亡しての崩壊、続く（フランスにとって）不幸な薩摩と長門の皇軍の合

流、反乱を起こした皇軍が横取りした少年ミカドに（將軍の）権力を譲ったと公言しています。先日、上級士官候補生を含む十一名のフランス人船員が、兵庫の近くで皇軍の兵士に不法に虐殺されました。この残虐行為は間違いなくヨロツパ海軍の（日本に對する）中立性に終止符を打つてでしょう。それは、兵庫に集まつて閣僚會議の決定を待たずに、全会一致で決められることが私たちには分かります。

（フランスの）軍事顧問団は、本日全員無事に江戸から横浜まで戻つたようです。デシヤルム氏に、最初に江戸そして横須賀で何度か会うことができ、嬉しく思いました。

私たちは事態がどのように変わるかを正確には分かりません。ここでは、革命さえもすべてゆっくり起きています。私たちには情報が不足しています。フランスの公使はすでに暗殺された兵庫にいます。

（フランスの）灯台の製造業者が照明機器の見積書の価格から10%割引くことを認めていることを、私はヴェルニー氏から知りました。

あなたが上席の役職に就いたことを心からお祝い致します。私はそれを知り、最上の喜びを感じ、あなたが同時に指揮する灯台部に、私は数年後も所属できる

ことを光榮に存じます。

アラード氏に敬意を表します。また昔の仲間が私を思い出してくれるようお願いする私のわがままをお許しください。特にデネシヨール氏には、私の至らなさを改善する約束を致します。

ヴェルニー氏の手紙の中で、あなたが記した私への氣遣いに感謝いたします。

謙虚さと献身的な思いを込めて、総監へ敬意を表します。

## L. フロラン

横須賀製鉄所の雇用主である徳川幕府が崩壊し、先が全く見えない中、フランスの足跡を残そうと、フロランの灯台建設に託した秘めた思いが記されています。下田の神子元島灯台の建設に監視 (surveillant) が必要とされる程、灯台の設置は当時重要視されていたことも読み取れます。

今回初めて、灯台以外の記述を翻訳し、幕末のフランス人の記録に大変興味を持ちました。フロランが会えて嬉しかったと報告しているデシヤルム氏とは、徳川幕府の要請を受け来日したフランス陸軍教師団の騎兵教官長を務めたオーギュスタン・デシヤルム



第1次フランス軍事顧問団の  
オーギュスタン・デシャルム（前列右端）  
（1866 12. 1 付 Le Monde Illustré誌の挿絵）

総監様  
私は、フロ  
ラン氏が日本  
の灯台建設に  
奔走している  
苦難の日々  
を、あなたが  
承知している  
ことを期待し  
ています。恐  
らくご存知と  
思いますが、

（Augustin Marie Leon Descharmes）と思われる。話題のフランス人だったようで、「英国外交官の見た幕末維新」の中で著者のミットフォードは、デシャルム氏は日本に着任したときグランドピアノを持ち込み、ベートーヴェン、モーツアルト、シヨパンなどあらゆる曲をひきこなしたと記され、幕末の来日した西洋人の中で際立つ異色の人物だったようです。

次の書簡は、観音埼灯台点灯直後の1869年2月22日（明治2年1月12日）付のヴェルニーの書簡です。

2月10日、日本の暦で1月1日に観音埼灯台が点灯しました。（注：2月10日は2月11日の誤り）

相模さがみに取り付け予定の器械は、野島埼に取り付けることになりました。江戸湾東口の最南端です。高さ22メートルの塔の工事はまだ開始していませんが、木造の塔が建てられ、4等級の横須賀に取り付け予定だったレンズと50センチメートルの反射型灯器により、布良の暗礁帯を照らしています。

この布良の暗礁帯は、海中4メートルに台地を形成しています。南からの強烈な暴風がその海上を吹き抜けるので、船はそこを避けるために遠回りをします。野島埼の灯火により、その地点は十分に照らされることとなります。

イギリス人が設置する灯台により、開港した港へは安全に入港できるようになるでしょう。しかし今日も、日本各地の海岸を、船舶は危険を伴い航行しています。先週、アメリカの汽船が野島埼から30マイルの東の海上で行方不明となり、嵐の後、500人のうち、浮いていた策具や破片にしがみついていた150人が救助されています。

日本人は軽薄さと浮気な性格から、灯台の仕事は向いていないように見えます。しかし、私たちが選んだ灯

台職員には不満はありません。日本政府は、命令の実行を監督する一種の下士官であるヤクニンを配置していません。翻訳させる予定の灯台のレンズの教本は写し取りました。しかし、ほとんどの翻訳者はとても怠けがちなため、最初からはうまくいかないでしょう。これらの教本は、市販されているものではありません。もし、灯台と標識灯と灯台職員規則の3部の教本が入手できれば、冊子に分割することで、恐らく私たちの目的も達成することができます。どうか、これらの教本を領事官またはFleury Gerard氏へ送っていただければ幸いです。

私は、ウートレイ氏（フランス公使）の日本政府への働きかけについてフランスの大臣に相談しました。ウートレイ氏は、日本政府に提供するものは何もないとの意見でした。もし前任者（ロツシユ）がこの考えであったら、この工廠の事業も綿花の取引もなかったでしょう。確かに政治情勢は大きく変わりました。以前の將軍は、新しい情勢を認めたくない家臣たちと戦うと言っています。私たちは、今日の政府海軍を指揮する薩摩の船を準備しています。彼らは、全く疑問を持っていません。新しい役人は古い者たちと同じ、お金を得るための策を考えることしか知りません。その

お金は、食事はできているが服を着ていない賃金労働者への未払いのお金です。デシヤルム氏は、争いが永久に続くこの哀れな国の多くの詳細な情報をあなたにお伝えするでしょう。それは、現在の革命にまだ現れていない強大な大名がいるからです。

脆弱な日本政府は、横須賀工廠の事業を継続する策を考えていますが、契約を頼りにするようです。私は、来年はまだ日本人だけでは働けないことを理由に、仏国人たちの契約延長を試みました。そこで日本政府の非常なやる気のなさとしてフランス人の間での一般的な法外な要求額を目にしました。これらのことから、来年はまだ日本からのニュースをお届けする可能性は十分にありません。

あなたに心から敬意を表します。



Francois Léonce Verny  
(横須賀海軍船廠史より)

## L. ヴェルニー

ヴェルニーの長文の書簡には、灯台と日仏の外交の知られざる事実が記されています。灯台に關しては、野島崎灯台に設置された1等級不動レンズと灯器が、現在の劔埼に設置を目論んでいた灯台用であったこと、仮設の木造灯台の4等級不動レンズは、その後品川灯台に取り付けられますが、当初は横須賀に設置を計画していた灯台用であったと記されています。横須賀製鉄所は、大小3組の灯台の器械を購入していました。その一つを観音埼に取り付け、残る2組は劔埼と横須賀に設置する計画で、東京湾外から横須賀へ導くための灯台用として準備していたことが、この書簡から判明しました。灯台の教本を熱望しているのは、灯台の知識を有するものが横須賀には、工廠の工事に追われるフロランシがいなかったことが大きな要因と思われます。

横須賀製鉄所（工廠）は、幕末のフランス公使ロッシユが、幕府に積極的に働きかけ誕生した賜物です。

後任のウートレイの消極的な態度を、ヴェルニーが本国の大臣へ密告していたような記述が見られます。また、前述のデシャルム氏が単なる目立ちたがり屋では

なかったことも、この書簡から読み取れます。

次はこの一か月後の1869年3月19日（明治2年2月7日）付のヴェルニーの書簡です。野島崎灯台の工事がいよいよ始まろうとする時期です。

### 総監様

私たちの祖国の用法により、以前書いた手紙の写しを送るように、同じ言葉を繰り返さず無礼をお許しください。何冊かの、例えば4冊の、灯台業務の教本や灯器の取扱書を要望いたします。その翻訳には長い時間を要し、複数の翻訳者に委託する必要があるでしょう。

独立した木造住宅と煉瓦造りの倉庫を備えた野島崎の灯台の契約を終えました。その額は、このフランスから遠く離れている国で5万フランに満たない額です。通常、建設費用はフランスよりも低コストで、新規のものはすべて、多くの時間を要します。私たちが事業を進めるこの日本では、彼らの論理的な思考の完全な欠如が、進行を困難にし、私たちが得たわずかなことでも恐れています。それは何よりも明白です。彼らが、フランス人職員と工廠の契約の延長に同意したのは、恐らくこの欠如を理解したためです。

フロラン氏は、少なくともドックが完成するまで横須賀に居るでしょう。昨年8月、私は彼を推薦し一等級への昇進を提案しました。彼はまだ早いと思つていようで、返事はまだありません。彼は、日本人灯台看守にとても満足しています。

私は、二つの灯台の点灯開始を、領事へまだ通知していない日本政府の対応に無氣力を覚えます。それは確かに、日本沿岸の他の灯台の準備を行つていゝスコットランドの技術者の操作によるものです。しかし私が、それらすべてと戦うことは不可能です。その行為は、古代の騎士が今の世で戦うように、今の情勢に反したものです。この事実を公表することに、私以上に興味を持つてゐる人がゐることは間違いないでしょう。例えば、フランスの大臣や海軍の司令官のように。取り上げるまでもない内容で申し訳ございません。灯台の光を放つ装置と日本の政治の変遷に、翻弄される不幸な私たちの状況を、あなたはいくらか関心をお持ちだと存じ上げております。

謹んで心より敬意を表します。

L. ヴェルニー

日本人灯台看守の働きが満足な現状ではあるが、灯

台の仕事の手引書などを再度要望し、またフロランへの昇進を提案するなど、上司としてのヴェルニーのフロランへの氣遣い、そして灯台の運用を重要視していたことが確認できます。

観音崎灯台の点灯開始、続く野島崎の仮設灯台の設置の通知が遅れていることに對し、ブランドンの妨害があるとのヴェルニーの申告は、当時の日本に於ける英仏の覇権争いの様相が伺えます。船による輸送が主力であつた当時、灯台の設置は経済や軍事への影響力が絶大で、国益を大きく左右する存在でした。その灯台を、日本ではいち早くフランスが次々と建設し運用してゐた事実をヴェルニーが誇りに思つてゐたこと、その通知の遅延に對し強く抗議できないフランスの苦しい当時の状況を、この書簡から読み取ることができます。

次は野島崎灯台建設中の1869年7月22日(明治2年6月14日)付のフロランの長文の書簡です。

総監様

5月にヴェルニー氏へお送りいただいた灯台業務に関する数冊の出版物を有難く受領いたしました。

私は2基の灯台の透写図を、ようやくあなたに送る

ことができます。私たちは当初、施設に灯台看守を住まわせる必要はないと考えました。しかし、灯台の近くに建てた日本の家屋は、私たちに最高の安全と最上級の清潔感を与えてくれました。

観音崎の場合、丘陵の頂上に建てられた二つの小屋を、灯台看守の住居として使用しています。この灯台に設置の鑄鉄製の階段は、よく出来ています。それは1ヶ月で取り付けられました。まだ残っている工事は、屋外の回廊の木製の欄干の交換だけで、現在、青銅製のものに交換しています。

(灯台で) 使用している日本産の菜種油は、横浜のデュポンシエル氏が精製した後、私たちへ届けられています。非常に見栄えの良いこの油は、しばしば改善点が残されています。横須賀で試験点灯をした後に灯台へ送り届けています。日本産の油は、すぐに劣化します。キログラムの価格は1:55〜1:60フランです。

私は、この19日に野島崎へ行ってきました。作業は順調に進んでいます。灯台看守の住居は建設され、職長は、その日本風の施設に住まわせています。煉瓦積みみの(灯台付属)倉庫は完成し、灯塔は基礎から5.5メートルの高さになっています。添付図は、地上からの立面図です。



建設中の初代野島崎灯台  
(日仏文化交流写真集より)

灯塔は海上から13メートルの高さに位置しています。倉庫や付属施設は、火山岩の台地を利用した灯塔の下にあります。この台地により数メートル高くすることができました。

この岩はとても硬く、家屋の大部分の基礎の確保にそれを利用しました。灯塔は高さ0.6メートルの石の台座に置かれ、この硬い石は階段や装飾壁を作るものと同じ性質の石です。

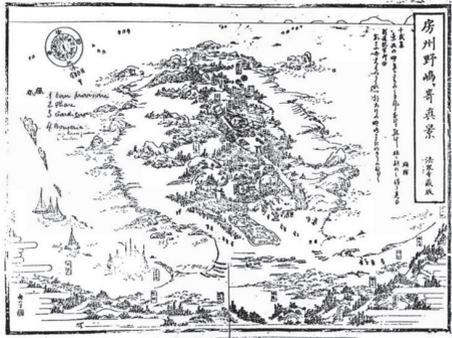
煉瓦はよく出来ています。野島崎で煉瓦は作られています。灯塔に積まれた煉瓦は、石灰の塗装によって外側を保護します。その石灰は、灯塔を目立たせるために塗られるものです。海岸から5〜600メートル

の距離に平行にかなり高い山が連なり、その背景から目立たせるものです。

もちろん次の10月に野島崎に泊まり込み作業を進行させ、12月1日頃には点灯できると考えています。

野島崎が描かれた日本の版画と、現在木製の欄干が付いている仮設灯塔の写真を同封します。この塔は、白く塗られており、土台には木で覆った煉瓦造りの小さな住居が建てられ、灯台看守の宿舎兼倉庫として使っています。灯火は海拔高約20メートルです。

注意すべきレンズの中の反射鏡は、0.5メートル



フロランの書簡に添付の野島崎の版画  
(フランス国立公文書館蔵)

の口径の反射鏡で、布良の岩礁の方向を照射する光線を放ちます。

ソーター氏が納入した1等級のレンズは残念でした。レンズの合わせ目地が石積み目地の厚みで接着されていました。私はそれを伸ばしてたわませ、レンズ面の内側を平に仕上げ、接着固定しました。

灯器は開梱し、良好な状態を確認済みです。横須賀製鉄所で二つの鑄鉄製の階段(同じモデル)、大階段の手すりの支柱、青銅製の手すり、二つの床の梁を作っています。円柱状の接続管は、観音崎と同じように装着します。

私の書簡は、日本の概況報告をもって終りにいたします。ブリュネ氏は、横浜の西洋人との連絡を許されず、函館、そして日本を去りました。抵抗し続けた日本の将軍は降参し、徳川の武装勢力は一瞬で終りました。

政府は財源が付き、「キンサツ」という名の流通が義務付けられた紙幣を発行しました。しかし、13年間有効なこの紙の返済保証は何もありません。

幸いにも、主要な工事の契約は、取引で発行額の1/4を失うこの紙よりも以前のものです。私たちはこれまで、請負業者へのお金の支払いは順調でした。

それが今つまずきそうです。政府がキンサツで請負業者へ支払をすると、仕事が完全に放棄されるのではないかと心配しています。

欧州各国との商取引は、この通貨の受け取りを拒否し、ビジネスは大きな打撃を受けます。

横須賀工廠の事業は、とりわけ乾ドックは順調に動いており、私に十分な満足を与えています。

総監へ敬意を表します 謙虚で献身的奉仕者

土木監督官 L.フロラン

追伸 アラード氏への敬意をお伝えください

日本最初の灯台に関する知られざる事実が満載の書簡です。この時期の灯台の官舎は、石造り又は煉瓦造りの洋館建てのイメージがありますが、フロランが建設した官舎は、すべて木造の和風建てでした。それは日本人専用の官舎だったからです。フロランは、その施設の中で最も清潔で安全な場所だと絶賛しています。ブランドンの灯台も初期の官舎は、日本人専用の木造の官舎が、石造官舎とは別棟で併設されています。現存する石造り又は煉瓦造りの官舎は、当初はお雇い外人専用の官舎でしたが、彼らが去った後、日本人灯台職員は住み慣れた和風の官舎を捨て、慣れない

洋館造りの官舎に住むようになっていたのです。

フロランは野島埼灯台に取り付けるフランスソーター社製一等級レンズの欠陥を認め、現地で手直ししています。彼はフランス各地の灯台の建設及び器械の設置の監督を歴任しており、野島埼灯台の工事現場でも灯台建設から機器の取り付けまで総てを監督していたようです。

日本の概況報告の中で出てきたブリュネ氏とは、フランス軍事顧問団の砲兵教官を務め、後に榎本武揚と共に函館戦争に従事したジュール・ブリュネ (Jules Brunel) と思われます。ハリウッド映画「ラストサムライ」のモデルになった人物です。また再三見られるアラード氏とは、当時中央灯台部の技師で数々の灯台研究の著書を残すエミール・アラード (Emile Allard 1818-1892) と推測されます。

次は野島埼灯台点灯開始直後の1870年1月28日 (明治2年12月27日) 付の副所長ティボディエの書簡です。

総監様

横須賀工廠が野島埼で一等級の灯火を点灯させました。この水路通報をあなたにお伝えできることを光栄

に思います。野島埼の位置では、光源をより高く配置できなかったのは残念でしたが、日本の夜間の大気が凄く澄んでいるおかげで、より広い範囲に光を届けることができました。しかし、国際委員会が選んだその場所は、非常に高い塔を必要とし、鋼板の灯台でなければ、ここで頻発する地震には、非常に高い組積構造（石造・煉瓦造）の灯台は不完全なものです。

横須賀工廠は、江戸の停泊地への標識灯の塔の建設を始めたところです。そこに取り付ける小型の灯火（の器械）は、レポー氏に依頼したばかりです。十分に運用できる操作方法をお教えいただければ光栄です。

心より敬意を表します 最も従順な奉仕者

海軍エンジニア C. テイボディエ



Jules C. C. Thibaudier  
(日仏文化交流写真集より)

短文の書簡ですが、灯台建設に関する知られざる事実が列記されていました。野島埼灯台は、国際委員会 (La commission internationale) なるものから要請を受けて建設した灯台でした。この委員会は、前記のフロランの書簡に見られたイギリス人とアメリカ人の将校による委員会と考えられます。

野島埼灯台は観音埼灯台に次ぐ日本最初期の灯台ですが、東洋一と云われた明治30年の伊江島灯台（30・3メートル）の設置まで、唯一の日本一高い灯台でした。その異様な高さは、国際委員会からの要請で光達距離を稼ぐための措置だったようです。フロランは、基礎に強固な岩盤を使用し、来日後の地震の経験から確信を得ていた煉瓦造で、高塔の野島埼灯台を建設しましたが、テイボディエは評価していません。ブランドンも日本の煉瓦を酷評し、初期は煉瓦造の灯台は菅島以外建設していませんが、後年には犬吠埼や尻屋埼などフロランと同じ煉瓦造の高塔を建設しています。興味深いのは、海抜高は野島埼よりも10メートル前後高いですが、犬吠埼は27・3メートル（90尺）、尻屋埼は28・2メートル（93尺）と、野島埼灯台の30・3メートル（100尺）の高さに合わせたように建設していることです。ちなみに、野島埼と同じ高さの伊江島灯台

は、ティポデイエが推奨した鉄造の灯台でした。

江戸の停泊地への標識灯とは、品川灯台です。拙稿（明治の灯台の話10品川灯台）では、灯台設置の理由書に、神奈川より品川沖へ向かう船のため外国人から要望されたと書かれており、品川灯台は条約で設置が決められた灯台ではなく、東京築地の外人居留地へ向かうための灯台としました。ティポデイエの書簡から、停泊地とされていた品川沖への目印の灯台であったことが明白になりました。

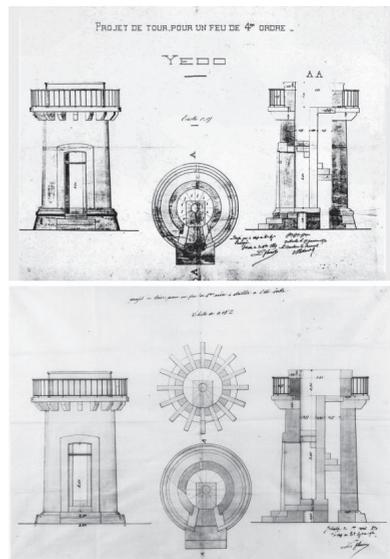
最後の書簡は、品川灯台の点灯開始直後の1870年4月12日（明治3年3月12日）付のフロランの書簡です。

### 総監様

あなたに、江戸で点灯させた標識灯の図面をお送りすることを光栄に思います。それは、4月5日にトニ川水道に沿った江戸の要塞のひとつに点灯させました。

灯火は紅色不動灯で、地平線の3/4を照らし、海拔高16メートルです。（灯光の）死角は北20度東から南70度東の間です。

最初（品川）の図面とあまり変わらない図面をお送り



品川（上）城ヶ島（下）の設計図  
（フランス国立公文書館所蔵）

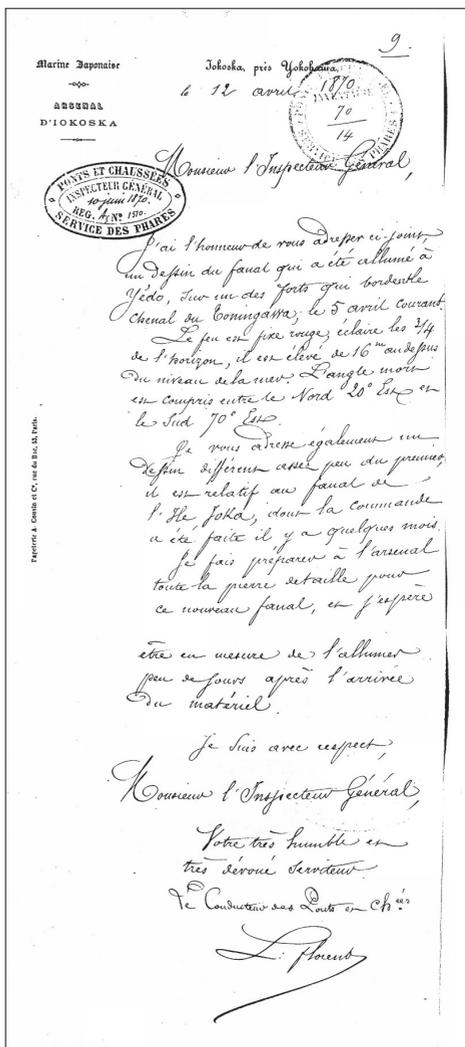
します。数ヶ月前に依頼された城ヶ島の標識灯の図面です。私は、この新しい標識灯のための切り石積みすべてを横須賀工廠で準備します。機器が到着後すぐに点灯させることを考えています。

総監に敬意を表します 謙虚で献身的奉仕者

土木監督官 L.フロラン

これまで拙稿で何度も紹介してきたとおり、フロランは観音埼と野島埼灯台をPhare（灯台）と表すのに対し、品川と城ヶ島灯台はFanal（標識灯）と区別しています。日本では、沿岸灯台も港の防波堤灯台も同じ灯台と表していますが、海外では違う種類に分けて

います。書簡も観音埼・野島埼灯台の長文に対し、品川と城ヶ島灯台は極端な短文の報告です。しかし、ここにも知られざる事実が記されていました。城ヶ島灯台は、品川灯台とほぼ同型で設計されています。灯台の基礎に若干の違いがある程度で、添付の図面を一目見ただけでは、灯台の区別はつきません。形状はほぼ同じですが、材質はこれまでの煉瓦造ではなく石造の灯台として計画されていたようです。その後、城ヶ島灯台がいつなぜ煉瓦造に変更されたかは、関係資料が見当たらず謎のままです。



1870. 4. 12付最後のフロランの書簡  
(フランス国立公文書館所蔵)

お雇い仏国人のこの6通の書簡の翻訳作業は、最初に目にしたときからの愚生の大きな課題でした。20年の課題をようやく終えた気分です。

この書簡の記載は、これまで何度も拙稿で引用してきましたが、今回の全文翻訳により、見落としや新たな発見がありました。日本の灯台の歴史においては、今回のようにたくさんの方の大事なことが、まだまだ眠っているような、そんな気がしてならない今日この頃です。

(明治の灯台の話(番外編) お雇い仏国人の書簡)



## 二 管 区

### OBによる 表敬挨拶がありました！

皆様、お元気にしていらっしやいますか？第二管区海上保安本部交通部企画課から御報告させていただきます。

令和2年から続く終息する気配のないコロナ禍でございますが、その影響により、灯台記念日祝賀会や各種行事が見送られ海上保安庁OBの皆様との交流の場が設けにくいことも周知の事実となっております。

そんな中、去る令和3年12月3日のこと、第二管区海上保安本部交通部に、地元OB代表として、表敬挨拶の御訪問をいただきましたので、ご紹介させ

ていただきます。2年続けて祝賀会が見送られる中で、久しぶりの歓談となりました。

来訪者

小松 和喜氏（平成15年3月退職）  
後藤 吉彌氏（平成15年3月退職）

◆近況報告の場を活用して

さて、訪問いただいたからには、我々が先輩には、その人脈を生かした広報塔となっていたべくためにも、次のようなお土産をお渡しいたしました。

・みちのく灯台物語（令和3年4月1日版）

・大間埼灯台点灯100周年記念グッズの数々

・海上保安庁パンフレット、第二管区海上保安本部パンフレット

・バーチャルA I S 航路標識の緊急表示制度リーフレット

・航路標識協力団体制度リーフレット など…

たくさんのお土産を快く受け取りい

ただきまして、記念グッズやパンフレットを見て、思い出話や近況について話しが弾みました。

また、後藤氏は、日本財団が実施する『海と灯台ウィーク』事業で地元放送局からインタビュー取材を受け、金華山灯台に延べ10年ほど勤務した思い出が収録されました。インタビューの様子は、地元放送局で放映されたほか、YouTubeで「140年以上の歴史を持つ金華山灯台 日本財団 海と日本P U R O J E C T in みやぎ 2021 #20」で視聴できます。ぜひご視聴いただき、いいね、ボタンをクリックしてください。

◆今年も東北にはメモリアルな灯台が…

令和3年は、大間埼灯台点灯100周年に沸いた東北は青森県でしたが、令和4年は龍飛埼灯台が点灯90周年を迎える年となります。「ごらんあれが竜飛岬 北のはずれと…」というフレーズが、有名な楽曲とともに流れて

きた方もいらつしやるでしょう。

このほか、鯉ヶ埼灯台が点灯120周年、陸中黒埼灯台と鶴ノ尾埼灯台は70周年、更には東日本大震災から復旧した大槌港灯台（ひよっこりひようつたん島で有名な島にある、あの復光デザイン灯台です。）も復旧10周年を迎え



左から 三ヶ田交通部長 後藤吉彌氏  
小松和喜氏 佐藤企画課長

る令和4年であります。

興味を抱いた皆様は、もう「みちのく灯台物語」を見るしかありません。ぜひ、第二管区海上保安本部のホームページをご覧くださいければと思います。

#### ◆締めくくりに

OBによる表敬訪問からパンフレットの紹介へと話題が飛びましたが、このコロナ禍においても、この燈光が会員皆様と繋がるものとして活用させていただければと思います。今回、このような投稿をさせていただきました。

第二管区海上保安本部交通職員一同、これからも東日本大震災を乗り越え「復光」した灯りを守り続けるため、精進して参ります。それでは、次回までお元気で。

（第二管区海上保安本部交通部企画課）

## 五 管 区

ドイツから届いた！

電波に詰め込まれたロマン

大阪湾海上交通センターではラジオ放送【中短波（日本語1651キロヘルツ、英語2019キロヘルツ）】で気象や潮流情報、明石海峡の通航船舶や漁船の操業状況を主に船舶に向けて24時間放送しています。

無線の世界では、放送局の電波を受信して受信状況を郵便で報告すると、放送局はその証明として「ペリカード」と呼ばれるその地方の名所や名物の写真、コールサイン等をデザインした絵ハガキのような受信確認証を送る習慣があります。

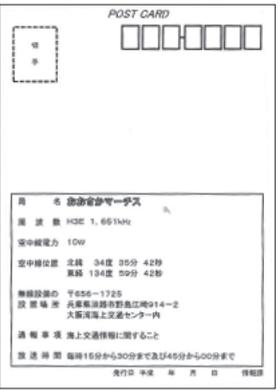
当センターでも、毎月1件は国内からの受信報告書が届き、その都度明石海峡大橋の写真入りペリカードを発行しています。

先日、おそらく開局以来初!?である



大阪湾海上交通センター（明石海峡大橋）

海上保安庁  
大阪湾海上交通センター  
Osakawan Vessel Traffic Service Center

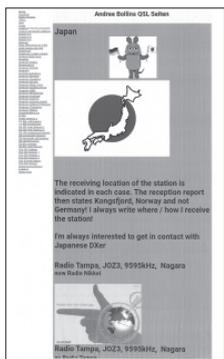


大阪湾海上交通センターのペリカード

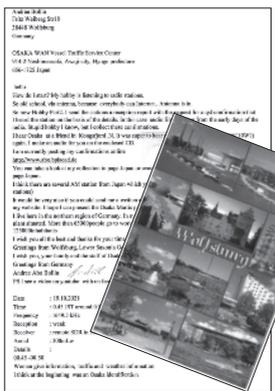
かつてペリカードコレクターだった情報官2名は、この周波数帯で日本からわずか10ワットで送信した電波がヨーロッパまで届いたこと、遠くから届くかすかな電波を職人技のダイヤル調整テクニックで捉えたときの感動につ

（昔は結構メジャーな趣味だったらしい！）  
当センターの情報官も若かりし頃、夜な夜な海外の短波放送（BBCやパチカン放送）を受信してはペリカードコレクションをしていたようです。（昔は結構メジャーな趣味だったらしい！）

う海外からの受信報告書が届きました。なんと日本から7000キロメートル以上離れたドイツのウルフスブルグという町からの報告で、ノルウェーの無線局で捉えた電波をネットを使って遠隔で操作し、受信した音声をCDに録音して送ってくれました。添えられた手紙には外国の放送を受信するペリカードコレクターであることやそれらを紹介したホームページが公開されていました。



日本のペリカードを紹介するホームページ



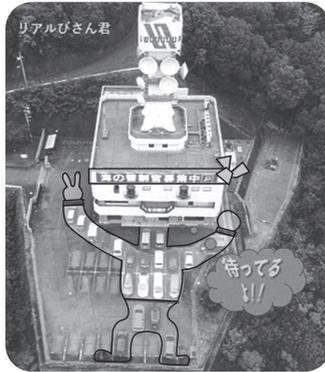
受信報告書と絵ハガキ

☆海外の人が喜びそうなものを添え、ペリカードを返送する予定です。（大阪湾海上交通センター）  
いて熱く話してくれました。みなさん、遠く離れた顔も見えない両者をつないでくれた電波にロマンを感じませんか？

六 管 区

リアルびさん君現る！

第六管区海上保安本部情報通信管理



センターから当センターの近傍の青の山山頂広場でドローン研修を開催するとの案内がありました。せっかくの機会ですので、研修の間に当センターを撮影していただきました。いかがでしょうか。庁舎出窓で目と口を、駐車場の車で手足胴体を描いた「リアルびさん君」です。これまでの「びさんちゃん」と一緒に、これから色々活動します。

びさんちゃん



よろしくね

(備讃瀬戸海上交通センター)

十 管 区

海底火山の噴出物が漂着

〜 遙か1300キロメートルの

彼方から〜

10月11日、航行船舶から、軽石などの大量の漂流物が奄美群島の喜界島の



南方海域に接近していると通報がありました。

これら漂流物が船舶の機関の冷却系統に支障を及ぼす可能性か

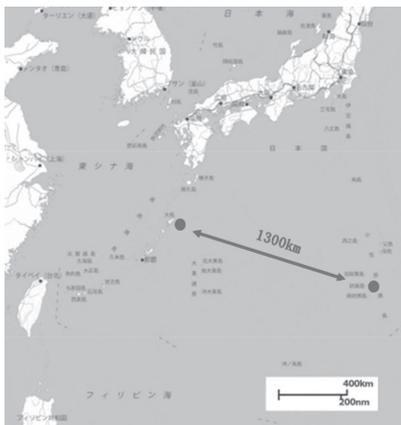
ら、航行船舶の安全のため、鹿児島県大島支庁、奄美群島内の12自治体、漁業協同組合、フェリーや代理店などに注意喚起の連絡を行いました。



帯状に漂着した軽石等  
(10月12日 大島郡龍郷町 戸口港)



漂着した軽石



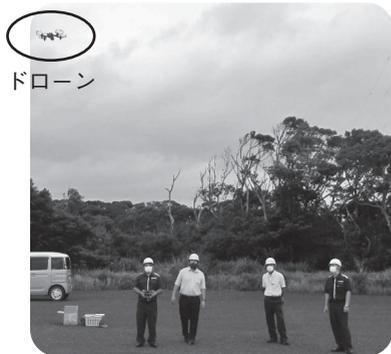
更に、「海の安全情報」で広く情報提供するとともに、海域に接近しているA I S搭載船にA I Sメッセージで直接注意喚起を行うことになりました。

やがて、漂流物の一部は喜界島や奄美大島の東側の海岸や港などに漂着、テレビニュースでも大きく放送されました。

これらの漂流漂着物は、小笠原諸島の海底火山の噴出物の可能性が指摘されています。遥か1300キロメートルを海流に乗って来た可能性があまりありません。

外洋離島の奄美群島では、船舶による食料や燃料など生活必需品の安定供給が不可欠です。奄美海上保安部は、地域住民の安全安心のために、船舶交通の安全確保に努めます。

(奄美海上保安部)



ドローン

19日 飛行訓練の様相  
(奄美市あかさき公園)

### ドローン取扱い講習受講 業務に活用するために

10月19日～20日、第十管区海上保安本部総務部情報通信課管理室によるドローン取扱い講習が開催され職員が受講しました。汎用型ドローンをこれまで以上に業務に活用すべく開催されたもので、運用責任者と操縦者のための座学と操縦者のための飛行訓練が行われました。

座学では、小型無人機等飛行禁止法



20日午前 座学の模様



20日午後 飛行訓練の様様  
(名瀬小湊)

や無人航空機に係る航空法の定義のほか、道路交通法、河川法などの許可事項、民法に係る土地所有者の同意・承認、そして、貸し出された汎用型ドローンを運用する際の具体的な手順について学びました。

飛行訓練は、奄美市内のあかざき公園などで、事前に公園管理者の許可を受け、周囲の安全を確保したことを確認し実施されました。

今後は、取扱いに係る知識と技能の向上により、直接に人によることが困難な確認や調査などにドローンを積極的に活用して、奄美群島の海の安全安心の確保に貢献します。

(奄美海上保安部)

## 第8弾

# のほねる灯台(16基) スタンプラリー達成者



参観中止期間がある中、計画を立て16灯台巡っていただき、ありがとうございます。  
達成者の皆様、おめでとうございます！

## 第47号

外所 利雄 様(59歳)長野県岡谷市在住

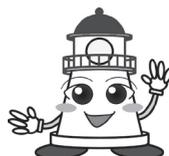
- ☆ スタンプラリー開始年月日  
令和2年2月8日 観音埼灯台
- ☆ スタンプラリー達成年月日  
令和3年11月3日 犬吠埼灯台
- ☆ スタンプラリーを始めたきっかけ  
以前から参観灯台をめくっていたが、  
スタンプラリーの存在を知って…
- ☆ 16か所巡った感想  
新型コロナの所為で時間がかかってしまった。



## 第48号

花井 由美子 様(72歳)愛知県大府市在住

- ☆ スタンプラリー開始年月日  
令和2年1月21日 残波岬灯台
- ☆ スタンプラリー達成年月日  
令和3年11月3日 犬吠埼灯台
- ☆ スタンプラリーを始めたきっかけ  
スタンプが集められる
- ☆ 16か所巡った感想  
楽しかった。



マヌルネコ 様(48歳)神奈川県藤沢市在住

- ☆ スタンプラリー開始年月日  
平成30年11月3日 観音埼灯台
- ☆ スタンプラリー達成年月日  
令和3年11月6日 出雲日御碕灯台
- ☆ スタンプラリーを始めたきっかけ  
灯台巡りが好きなので
- ☆ 16か所巡った感想  
とても楽しかったです！  
終わってさみしいです。



## スタンプラリー達成者記念品リニューアル

令和3年11月～スタンプラリー16か所を達成された方には、これまでの「日本の灯台50選」に変わり、次頁のとおり燈光会オリジナルグッズをプレゼントいたします。今回のリニューアルは、全国をまわって頂いて販売している記念品では申し訳ない！という支所職員の思いから、参観者へリサーチしたり、他のスタンプラリーを参考にしたりと事務局と支所職員と試行錯誤のうえ、この4点に決まりました。

1点目エコバックは、ポーチとバックに分かれており、ポーチのみに燈光会のロゴマーク入りですので、バック使用の際は無地となります。

2点目カラビナ付きライト、そして3点目のマグボトルは、ロゴマーク等入ってませんので、4点目の16灯台ステッカーを貼っていただけるように、ステッカーのサイズを調整しています。リニューアルに伴い、今後のスタンプラリー参観者が増えることを期待しております。

# 燈光会オリジナルグッズ

全4点



・のぼれる灯台全16ステッカー

お好きなところに！

カラビナライトに！

サーモボトル本体に！ サーモボトルのキャップに！

# 灯台参観記念スタンプ帳



下記16灯台にて絶賛発売中 1冊150円



## ★お知らせ★

- \* 都井岬灯台は、改修工事のため、令和4年3月末（予定）までの間、灯台参観業務を休止しております。
- \* 入道埼灯台については、今年度の灯台参観業務を終了しており、来年4月上旬からの開始となります。
- \* 尻屋埼灯台につきましては、参観開始の時期が決まり次第、あらためてお知らせします。

ご迷惑をおかけしますが、ご了承のほどお願いいたします。